

岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

2017

大学概要



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



岡山大学概要2017

目次

歴代学長	2
学年暦	2
理念・目的・目標	3
沿革	4
組織図	6
役職員	8
教育研究組織等	11
大学院	11
学部	12
専攻科・別科	12
研究所	13
岡山大学病院	13
全学センター	14
附属学校	15
附属図書館	15
共同利用・共同研究拠点	15
教育関係共同利用拠点	15
機構	16
教育研究プログラム戦略本部	16
ダイバーシティ推進本部	17
海外オフィス	17
統計	18
役職員数	18
学生数	20
児童・生徒及び園児数	23
入学者数	23
卒業者進路（修了者就職状況）	25
奨学生数	27
学位授与者数	28
岡山大学病院病床数及び患者数	28
国際交流	29
協定大学等分布	29
協定一覧	29
海外留学者数の推移	31
外国人留学生数の推移	31
教員の海外渡航者数及び 外国人研究者受入状況	33
財政	34
土地・建物	36
諸施設	38
社会連携	40
関連組織	41
アクセス	42
キャンパスマップ	44

歴代学長



第14代学長
医学博士
榎野博史

林	道倫	昭和24.5.31	～昭和24.6.28※
林	道倫	昭和24.6.29	～昭和27.7.25
清水	多榮	昭和27.7.26	～昭和33.1.30
藤原	秀勝	昭和33.1.31	～昭和33.5.31※
八木	日出雄	昭和33.6.1	～昭和37.5.31
服部	静夫	昭和37.6.1	～昭和39.4.30
赤木	五郎	昭和39.5.1	～昭和44.5.9
谷口	澄夫	昭和44.5.9	～昭和44.6.13※
谷口	澄夫	昭和44.6.14	～昭和50.6.13
小坂	淳夫	昭和50.6.14	～昭和56.6.13
大藤	眞	昭和56.6.14	～昭和62.6.13
高橋	克明	昭和62.6.14	～平成5.6.13
小坂	二度見	平成5.6.14	～平成11.6.13
河野	伊一郎	平成11.6.14	～平成17.6.13
千葉	喬三	平成17.6.14	～平成23.3.31
森田	潔	平成23.4.1	～平成29.3.31
榎野	博史	平成29.4.1	～

注：※印は、学長事務取扱を表す。

学年暦

4月1日	学年始め、第1学期開始、 前期開始（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
4月2日	入学式
6月11日	第1学期終了
6月12日	第2学期開始
8月10日	第2学期終了
8月11日	夏季休業（～9月30日）
9月29日	学位記等授与式
9月30日	前期終了（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
10月1日	第3学期開始、 後期開始（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
10月14日	秋季入学式
10月22日	開学記念日
12月3日	第3学期終了
12月4日	第4学期開始
12月25日	冬季休業（～1月4日）
2月14日	第4学期終了
2月15日	春季休業（～3月31日）
3月23日	学位記等授与式
3月31日	後期終了（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）、学年終了

1 理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利点を活かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に活用します。

(5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。

沿

革

組

織

図

役

職

員

教

育

研

究

統

計

国

際

交

流

財

政

土

地

建

物

諸

施

設

社

会

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

連

携

関

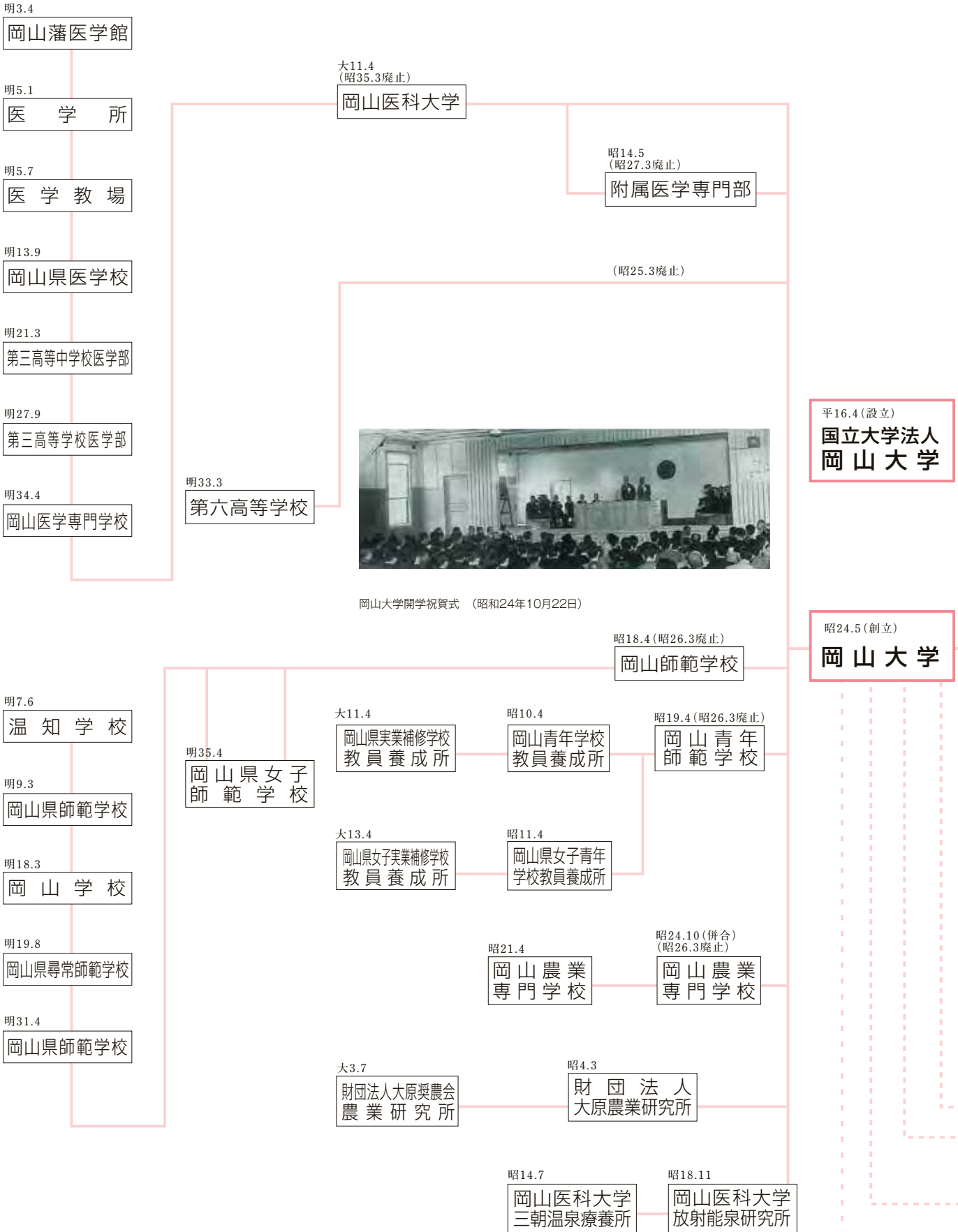
連

携

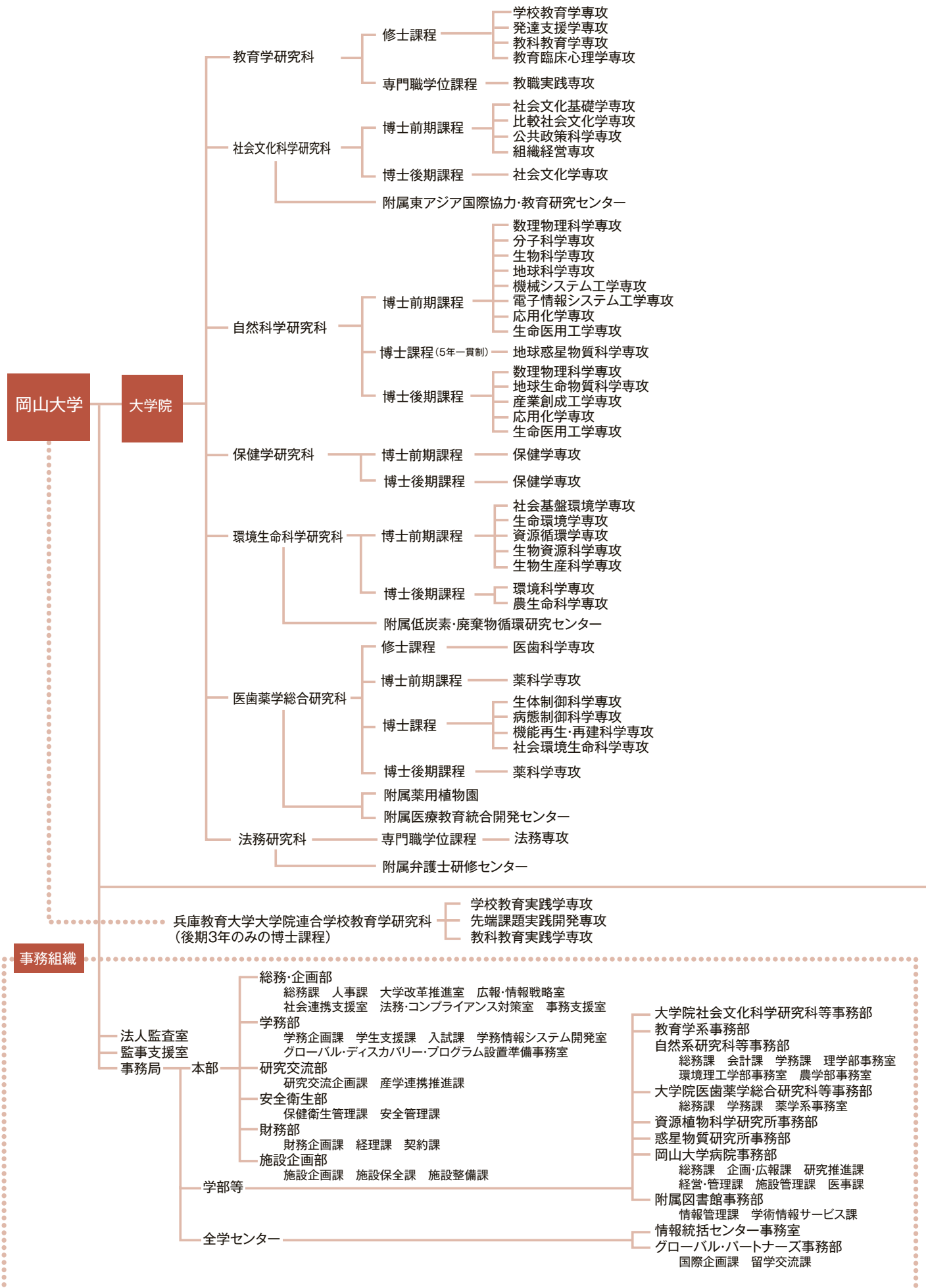
関

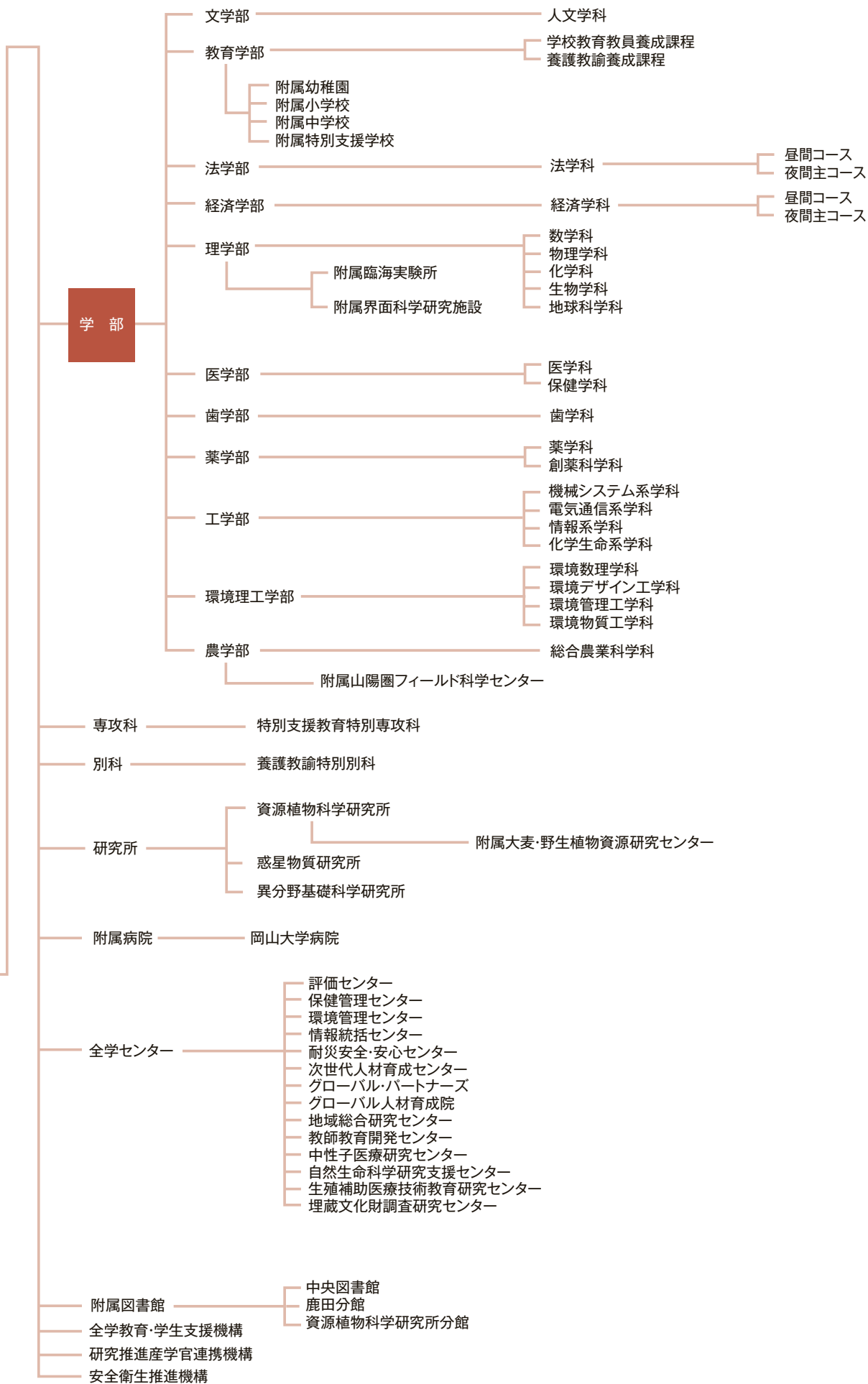
連

沿革



組織図





歴代学長、学生暦、理念・目的・目標

沿革

組織

職

役員

職員

教育研究組織等

統計

国際交流

財務・土地・建物諸施設、社会連携関連組織

アクセス

キャンパスマップ

役員

平成29年7月1日現在

役員等

学長	横野博史
理事・副学長（企画・評価・総務担当）	高橋香代
理事・副学長（教育担当）	佐野寛
理事・副学長（研究担当）	竹内大二
理事・副学長（国際担当）	神崎浩
理事・岡山大学病院長（医療担当）	金澤右
理事・副学長（財務・施設担当）	菅誠治
監事	苅田昌
監事（非常勤）	上岡美保子
副学長（法務・コンプライアンス担当）	吉野夏己
副学長（入試改革担当）	田原誠
副学長（グローバル・ディスカバリー・プログラム担当）	中谷文美
副学長（医療統合科学研究科設置担当）	妹尾昌治
副理事	伊野英男
副理事	佐藤法仁
副理事	狩野光伸
副理事	古矢修一
副理事	横井篤文
学長特別補佐	小村俊平
学長特別補佐	青山竜文
エグゼクティブ・アドバイザー	山本進一
事務局長	渡邊和良

教育学研究科

研究科長	高塚成信
副研究科長	三村由香里
副研究科長	桑原敏典
副研究科長	加賀勝

社会文化科学研究科

研究科長	田中共子
副研究科長	延味能都
副研究科長	小田川大典
副研究科長	田口雅弘
附属東アジア国際協力・教育研究センター長	田中共子

自然科学研究科

研究科長	富岡憲治
副研究科長	鶴田健二
副研究科長	多田直哉
副研究科長	門田功

保健学研究科

研究科長	竹田芳弘
副研究科長	岡久雄
副研究科長	齋藤信也

環境生命科学研究科

研究科長	舟橋弘晃
副研究科長	西山哲
副研究科長	難波徳郎
副研究科長	村田芳行
附属低炭素・廃棄物循環研究センター長	舟橋弘晃

医歯薬学総合研究科

研究科長	那須保友
副研究科長	大原直也
副研究科長	狩野光伸

副研究科長	大塚愛二
副研究科長	浅海淳一
副研究科長	檜垣和孝
附属薬用植物園長	檜垣和孝
附属医療教育統合開発センター長	那須保友

法務研究科

研究科長	神例康博
副研究科長	佐藤吾郎
副研究科長	西田和弘
附属弁護士研修センター長	吉野夏己

文学部

学部長	金関猛
副学部長	田仲洋己
副学部長	藤井和佐

教育学部

学部長	高塚成信
副学部長	三村由香里
副学部長	桑原敏典
副学部長	加賀勝
附属幼稚園長	高塚敏之
附属小学校長	田中智生
附属中学校長	川田力
附属特別支援学校長	仲矢明孝

法学部

学部長	波多野敏
副学部長	黒神直純
副学部長	塩谷毅

経済学部

学部長	平野正樹
副学部長	長畑秀和
副学部長	村井浄信

理学部

学部長	吉野雄二
副学部長	野原実
副学部長	西原康師
附属臨海実験所長	坂本竜哉
附属界面科学研究施設長	横谷尚睦

医学部

学部長	大塚愛二
副学部長	松川昭博
副学部長	中塚幹也

歯学部

学部長	浅海淳一
副学部長	松尾龍二
副学部長	久保田聡

薬学部

学部長	檜垣和孝
副学部長	黒崎勇二
副学部長	三好伸一

工学部

学部長	富田栄二
-----	------

副学部長	阿部匡伸
副学部長	田野哲
副学部長	依馬正

環境理工学部

学部長	木村邦生
副学部長	木村幸敬
副学部長	諸泉利嗣

農学部

学部長	門田充司
副学部長	久保康隆
副学部長	木村吉伸
附属山陽圏フィールド科学センター長	吉田裕一

資源植物科学研究所

所長	前川雅彦
副所長	坂本巨
附属大麦・野生植物資源研究センター長	佐藤和広

惑星物質研究所

所長	中村栄三
副所長	神崎正美
副所長	小林桂

異分野基礎科学研究所

所長	久保園芳博
副所長	沈建仁

岡山大学病院

病院長	金澤右
副病院長	伊達勲
副病院長	尾崎敏文
副病院長	宮脇卓也
副病院長	大塚文男
副病院長	藤原俊義
副病院長	飯田征二
副病院長	塚原宏一
副病院長	前川珠木

全学センター

評価センター長	五福明夫
保健管理センター長	岩崎良章
環境管理センター長	西村伸一
情報統括センター長	菅誠治
情報統括センター副センター長	稗田隆
耐災安全・安心センター長	鈴木和彦
耐災安全・安心センター副センター長	山岡聖典
次世代人材育成センター長	佐野寛
次世代人材育成センター副センター長	味野道信
グローバル・パートナーズセンター長	神崎浩
グローバル・パートナーズ副センター長	鈴木孝義
グローバル・パートナーズ副センター長	釣雅雄
グローバル・パートナーズ副センター長	廣畑聡
グローバル・パートナーズ副センター長	川畑順一
グローバル人材育成院長	神崎浩
地域総合研究センター長	三村聡
教師教育開発センター長	高塚成信
教師教育開発センター副センター長	高旗浩志
教師教育開発センター副センター長	橋本拓治

中性子医療研究センター長	竹内大二
中性子医療研究センター副センター長	古矢修一
中性子医療研究センター副センター長	市川康明
中性子医療研究センター副センター長	金澤右二
自然生命科学研究支援センター長	竹内大俊
自然生命科学研究支援センター副センター長	小野朗
生殖補助医療技術教育研究センター長	佐野寛
生殖補助医療技術教育研究センター副センター長	岡久雄
生殖補助医療技術教育研究センター副センター長	門田充司
埋蔵文化財調査研究センター長	菅誠治
埋蔵文化財調査研究センター副センター長	山本悦世

附属図書館

館長	今津勝紀
副館長	木村吉伸
副館長	李禎之
鹿田分館長	松尾龍二
資源植物科学研究所分館長	鈴木信弘

全学教育・学生支援機構

機構長	佐野寛
副機構長	松川昭博
副機構長	佐々木健二

研究推進産学官連携機構

機構長	竹内大二
副機構長	尾本哲朗

安全衛生推進機構

機構長	菅誠治
副機構長	宮崎隆文

事務組織

法人監査室長	藤原浩一
--------	------

[事務局]

事務局長	渡邊和良
------	------

[本部]

総務・企画部長	後藤博明
総務課長	徳山久文
人事課長	朝國誠司
大学改革推進室長	長谷川拓哉
広報・情報戦略室長	笠原秀起
社会連携支援室長	林忠行
法務・コンプライアンス対策室長	後藤博明
事務支援室長	後藤博明
学務部長	森山睦
学務企画課長	萱野朋子
学生支援課長	渡邊一右
入試課長	石黒智幸
グローバル・ディスカバリー・プログラム設置準備事務室長	中山達也
研究交流部次長	坂口浩司
研究交流企画課長	古川友和
産学連携推進課長	長砂毅
安全衛生部長	林崇史
保健衛生管理課長	恒國昭二
安全管理課長	大島康男
財務部長	藤波豊彦
財務企画課長	矢野光重

経理課長 浜 家 隆
 契約課長 須 藤 晴 夫
 施設企画部長 松 山 忠 生
 施設企画課長 岩 佐 和 則
 施設保全課長 新 西 正 典
 施設整備課長 江 草 龍 源

[学部等]

大学院社会文化科学研究科等事務長 峯 光 広
 教育学系事務長 阿 藤 俊 二
 自然系研究科等事務部長 高 月 希 一 郎
 自然系研究科等総務課長 兼 田 修 平
 自然系研究科等会計課長 阿 部 秀 一
 自然系研究科等学務課長 近 常 聡
 自然系研究科等理学部事務室長 高 橋 伸 二
 自然系研究科等環境理工学部事務室長 藤 本 保 博
 自然系研究科等農学部事務室長 早 川 みどり
 大学院医歯薬学総合研究科等事務部長 植 田 宏
 大学院医歯薬学総合研究科等総務課長 川 口 克 己
 大学院医歯薬学総合研究科等学務課長 今 西 勝

大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室事務長 大 田 学
 資源植物科学研究所事務長 岸 繁 樹
 惑星物質研究所事務長 山 崎 征 洋
 岡山大学病院事務部長 山 口 太 司
 岡山大学病院総務課長 木 村 勝 弘
 岡山大学病院企画・広報課長 近 藤 一 彦
 岡山大学病院研究推進課長 三 枝 豊
 岡山大学病院経営・管理課長 有 川 正 二
 岡山大学病院施設管理課長 秋 山 義 明
 岡山大学病院医事課長 直 原 敦 美
 附属図書館事務部長 大 元 利 彦
 附属図書館情報管理課長 田 中 俊 二
 附属図書館学術情報サービス課長 森 谷 めぐみ

[全学センター]

情報統括センター事務室長 早 竹 昭 人
 グローバル・パートナーズ事務部長 川 畑 順 一
 グローバル・パートナーズ国際企画課長 原 田 美 樹
 グローバル・パートナーズ留学交流課長 石 田 達 彦

経営協議会委員

平成29年5月1日現在

学長 榎 野 博 史
 理事（企画・評価・総務担当） 高 橋 香 代
 理事（教育担当） 佐 野 寛
 理事（研究担当） 竹 内 大 二
 理事（国際担当） 神 崎 浩
 理事（医療担当） 金 澤 右
 理事（財務・施設担当） 菅 誠 治
 事務局長 渡 邊 和 良

名古屋外国語大学長 亀 山 郁 夫
 消費者庁顧問 板 東 久 美子
 岡山県青少年育成県民会議会長 門 野 八 洲 雄
 倉敷市長 伊 東 香 織
 岡山済生会総合病院名誉院長 糸 島 達 也
 弁護士 小 林 裕 彦
 山陽新聞社代表取締役社長 松 田 正 己
 岡山経済同友会顧問 泉 史 博
 岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長 梶 谷 俊 介

教育研究評議会評議員

平成29年5月1日現在

学長 榎 野 博 史
 理事（企画・評価・総務担当） 高 橋 香 代
 理事（教育担当） 佐 野 寛
 理事（研究担当） 竹 内 大 二
 理事（国際担当） 神 崎 浩
 理事（医療担当） 金 澤 右
 理事（財務・施設担当） 菅 誠 治
 事務局長 渡 邊 和 良
 副学長（法務・コンプライアンス担当） 吉 野 夏 己
 副学長（入試改革担当） 田 原 誠
 副学長（グローバル・ディスカバリー・プログラム担当） 中 谷 文 美
 副学長（医療統合科学研究科設置担当） 妹 尾 昌 治
 大学院教育学研究科長・教育学部長 高 塚 成 信
 大学院社会文化科学研究科長 田 中 共 子
 大学院自然科学研究科長 富 岡 憲 治
 大学院保健学研究科長 竹 田 芳 弘
 大学院環境生命科学研究科長 舟 橋 弘 晃

大学院医歯薬学総合研究科長 那 須 保 友
 大学院法務研究科長 神 例 康 博
 文学部長 金 関 猛
 法学部長 波 多 野 敏
 経済学部長 平 野 正 樹
 理学部長 吉 野 雄 二
 医学部長 大 塚 愛 二
 歯学部長 浅 海 淳 一
 薬学部長 檜 垣 和 孝
 工学部長 富 田 栄 二
 環境理工学部部長 木 村 邦 生
 農学部長 門 田 充 司
 資源植物科学研究所長 前 川 雅 彦
 惑星物質研究所長 中 村 栄 三
 異分野基礎科学研究所長 久 保 園 芳 博
 附属図書館長 今 津 勝 紀

教育研究組織等

大学院

平成29年5月1日現在

研究科	区分	専攻		
教育学研究科	修士課程	学校教育学専攻 教育臨床心理学専攻	発達支援学専攻	教科教育学専攻
	博士前期課程	社会文化基礎学専攻 組織経営専攻	比較社会文化学専攻	公共政策科学専攻
自然科学研究科	博士前期課程	数理物理科学専攻 地球科学専攻 応用化学専攻	分子科学専攻 機械システム工学専攻 生命医用工学専攻	生物科学専攻 電子情報システム工学専攻
	博士課程	地球惑星物質科学専攻		
	博士後期課程	数理物理科学専攻 応用化学専攻	地球生命物質科学専攻 生命医用工学専攻	産業創成工学専攻
	博士前期課程	保健学専攻		
環境生命科学研究科	博士前期課程	社会基盤環境学専攻 生物資源科学専攻	生命環境学専攻 生物生産科学専攻	資源循環学専攻
	博士後期課程	環境科学専攻	農生命科学専攻	
医歯薬学総合研究科	修士課程	医歯科学専攻		
	博士前期課程	薬科学専攻		
	博士課程	生体制御科学専攻 社会環境生命科学専攻	病態制御科学専攻	機能再生・再建科学専攻
	博士後期課程	薬科学専攻		
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻		
法務研究科	専門職学位課程	法務専攻		
兵庫教育大学大学院連合学校	後期3年だけの博士課程	学校教育実践学専攻	先端課題実践開発専攻	教科教育実践学専攻

歴代学長、学生層、理念・目的・目標

沿

革

組

織

図

役

職

員

教育研究組織等

統

計

国

際

交

流

財政・土地・建物諸施設、社会連携関連組織

ア

ク

セ

ス

キャンパスマップ

学 部

平成29年5月1日現在

学科・課程		学科目		
文学部 (1学科 5学科目)	人文学科	哲学芸術学	行動科学	歴史学
		アジア言語文化論	欧米言語文化論	
教育学部 (2課程 15学科目)	学校教育教員養成課程	国語教育	社会科教育	数学教育
		理科教育	音楽教育	美術教育
		保健体育	家政教育	技術教育
		英語教育	特別支援教育	幼児教育
		教育学	教育心理学	
	養護教諭養成課程	養護教育		
法学部 (1学科 4学科目)	法学科 (含夜間主コース)	公共法	市民法	比較国際法
		現代政治学		
経済学部 (1学科 4学科目)	経済学科 (含夜間主コース)	経済理論・統計	比較経済	政策科学
		経営・会計		
理学部 (5学科 5学科目)	数学科	数学		
	物理学科	物理学		
	化学科	化学		
	生物学科	生物学		
	地球科学科	地球科学		
医学部 (2学科 20学科目)	医学科	人体構造機能学	循環器病態学	麻酔・救急医学
		脳神経制御学	器官病態学	母性・小児医学
		腫瘍制御医学	生体情報医学	感覚・運動機能病態学
		法医生命倫理学	感染防御医学	社会環境健康医学
	保健学科	基礎看護学	成人看護学	母子看護学
		地域看護学	医用放射線科学	放射線診療技術学
		病態検査学	機能解析学	
歯学部 (1学科 5学科目)	歯学科	口腔基礎常態学	口腔基礎病態学	口腔病態外科学
		口腔機能再建学	予防・発育加齢歯科学	
薬学部 (2学科 2学科目)	薬学科	医療薬学		
	創薬科学科	医薬品開発科学		
工学部 (4学科 4学科目)	機械システム系学科	機械システム系学		
	電気通信系学科	電気通信系学		
	情報系学科	情報系学		
	化学生命系学科	化学生命系学		
環境理工学部 (4学科 4学科目)	環境数理学科	環境数理学		
	環境デザイン工学科	環境デザイン工学		
	環境管理工学科	環境管理工学		
	環境物質工学科	環境物質工学		
農学部 (1学科 4学科目)	総合農業科学科	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学
		環境生態学		

マッチングプログラムコース

学生一人一人の個性や能力を一層伸ばすことを目指して、既成のカリキュラムの枠組みを越えて学部・学科を横断的に、主体的に履修プログラム（課題提案型履修プログラム）を作ることにより、各自の学習目的を達成するとともに明確なキャリアデザイン能力を持つ学生を育成するコースである。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士（学術）」の学位が授与される。

グローバル・ディスカバリー・プログラム（2017年10月開始）

従来の学部の壁を超えた広域的な教育を行うマッチングプログラムコースを拡充・発展させた教育プログラム。国内外の学生（1学年国内選考30人、国際選考30人）が、アカデミック・アドバイザーによる丁寧な履修指導の下に、自分で履修プログラムを組み立てる。既存の学部や学科の枠にとらわれず、現在の関心や将来の目標にマッチした幅広い科目履修を通じて専門的知識を身につけ、グローバルな課題解決に向けて行動できる人材を育てる。

専攻科・別科

- 特別支援教育特別専攻科
- 養護教諭特別別科

研究所

研究所名	内 容
資源植物科学研究所	大正3年、大原孫三郎氏によって農業の研究とその応用による農事の改良を目的として設立された財団法人大原農業研究所を前身としており、昭和27年に岡山大学に移管された。翌年には、農業生物研究所（附置研究所）となり、昭和63年資源生物科学研究所、平成22年4月からは共同利用・共同研究拠点として資源植物科学研究所と改組した。植物ストレス科学共同研究コア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと、5つの研究ユニット（大気環境ストレス、土壌環境ストレス、環境生物ストレス、遺伝資源、ゲノム育種）を置き、国内外の研究者と連携し、劣悪環境でも生育可能な作物の創出に向けた基礎研究を推進している。
惑星物質研究所	平成28年4月地球物質科学研究センターを改組し設置された。当研究所の歴史は昭和26年に設置された岡山大学温泉研究所より始まり、4度の改組を経て現在に至っている。この間、地球化学そして実験地球物理学的手法に基づき地球および惑星物質科学研究に一貫して取り組み、先進的な研究活動が国際的にも高く評価されている。当研究所には、惑星物質基礎科学部門、惑星システム科学部門、生命・流体物質科学部門の3つの研究部門が設置される。地球を含む惑星物質の起源・進化・ダイナミクスの探求に加え、総合的かつ普遍的な物質科学のアプローチを用いた、既存の学問分野にとらわれない先進的研究の開拓にも積極的に取り組んでいる。
異分野基礎科学研究所	物理学と基礎生命科学の研究の発展と、それを融合した新しい研究分野の創出を目指して、平成28年4月に設立された。「量子宇宙」「光合成・構造生物学」「超伝導・機能材料」の3つの研究コアがあり、具体的な研究テーマは、レーザー分光学を使ったニュートリノ物理学の研究、光合成の構造と機能の解明ならびに人工的な光合成システムの創製、高温超伝導材料や次世代エレクトロニクスに向けた新機能材料の開発、理論化学的アプローチによるエネルギー貯蔵物質の研究である。また、これらの研究を融合発展させて、エネルギー問題解決につながる新材料やデバイスの創製を進めることも念頭に入れている。

岡山大学病院

平成29年4月1日現在

区 分	診療科名			
医 科	総合内科	消化器内科	血液・腫瘍内科	
	呼吸器・アレルギー内科	腎臓・糖尿病・内分泌内科	リウマチ・膠原病内科	
	循環器内科	神経内科	感染症内科	
	消化管外科	肝・胆・膵外科	呼吸器外科	
	乳腺・内分泌外科	泌尿器科	心臓血管外科	
	小児外科	整形外科	形成外科	
	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
	精神科神経科	脳神経外科	麻酔科蘇生科	
	小児科	小児循環器科	小児神経科	
	小児血液・腫瘍科	小児麻酔科	小児放射線科	
	産科婦人科	放射線科	救急科	
	病理診断科	緩和支援医療科		
	歯 科	総合歯科	むし歯科	歯周科
		クラウンブリッジ補綴科	咬合・義歯補綴科	口腔外科（再建系）
口腔外科（病態系）		歯科放射線・口腔診断科	歯科麻酔科	
矯正歯科		予防歯科	小児歯科	

全学センター

センター名	事業内容
評価センター	各種の評価を通じて、本学の教育研究活動等の質的な保証と改善を図り、社会への説明責任を果たすことを目的としている。教員活動評価など各種自己評価や第三者評価に関する企画立案や総合調整、評価結果の分析と改善策の提言を行う。
保健管理センター	学生及び教職員の健康の保持、増進をはかり、健全な生活が送れるように設けられている。当センターでは、定期的健康診断を実施し、病気の予防、早期発見につとめ、また、心身に関する健康相談及び指導が、各科の専門医、保健師、臨床心理士、栄養士により行われている。 鹿田地区には、鹿田室が設置されている。
環境管理センター	本学の環境マネジメント及び労働安全の充実を図る目的で設置されている。環境管理業務（排水監視、有害廃液・廃棄物管理、環境マネジメント）、安全管理業務（職場や実験室の化学物質取り扱い）とその教育・研究を行っている。
情報統括センター	教育研究に必要なICT環境の整備と管理運用を統括的に推進することを目的としている。具体的には情報戦略の支援、高度なICT環境の整備、情報セキュリティ・情報倫理遵守の推進である。
耐災安全・安心センター	自然災害に対応できる安全技術者育成を目的として、地域住民とのリスクコミュニケーション、リスク管理論に基づく事故防止、大規模施設の安全管理、低線量放射線の人への安全利用等の技術を学術的な立場で研究し、「耐災安全・安心に関する人材育成特別プログラム」大学院コースを実施している。さらに原子力教育大学連携ネットワーク（JNEN：岡山大学、東京工業大学、大阪大学、金沢大学、福井大学、茨城大学、名古屋大学、原子力機構）をはじめとする連携機関の協力による原子力人材育成事業を展開している。研究で得られた成果を基に安全・安心に関する体系的な教育組織と環境を形成し、我が国の大規模製造設備の現場で要求されている人材育成を担っている。
次世代人材育成センター	「科学先取りグローバルキャンパス岡山」の運営などのために平成26年10月に設立された。このプログラムは、意欲と能力の高い高校生を対象にして、彼らの才能を科学研究の分野で伸ばすことを目的にしている。
グローバル・パートナーズ	本学の国際化に向けた取組を主体的に企画・実施するとともに、各部署の国際交流を強力にサポートするため、平成26年7月に国際センターを改組して設置された。海外大学等との交流協定の締結や、短期留学プログラム（EPOK）・海外語学研修による学生の海外派遣、本学に入学予定の外国人留学生の渡日支援及び修学支援のための各種情報やサービス提供を担う。
グローバル人材育成院	実践的な英語力とコミュニケーション力を身につけるとともに、異文化と日本文化への理解を深めてアイデンティティーの形成を図り、グローバルに活躍できる中核的人材の育成を目指して、平成25年4月に設置された。各学部及び関係する全学センターとの連携の下、グローバル人材育成特別コースの運営を行う。
地域総合研究センター	大学の社会貢献活動の強化を目的として、平成23年11月に設置された。全学体制からなる運営委員会を置き、大学・地域間の各種政策に関するコーディネート及びシンクタンク機能を持ち、組織的な社会貢献・地域連携を推進している。教員・地域の方々との対話を通して学生に実践力を身につけさせるため、まちなかキャンパス、グローバル人材育成をサポートする様々なプロジェクトを実施している。また、平成26年度からは、新たに実践型社会連携教育プログラムの構築に取り組み、実践知教育を導入・展開している。
教師教育開発センター	平成22年4月に設置され、全学教職コア・カリキュラムの研究開発、教職指導（教職支援・相談業務）、県下の協力校、教育学部附属学校園、教育委員会等、関連諸機関との連携協力事業、理数系教員養成事業等を実施している。
中性子医療研究センター	薬学と素粒子物理学という異分野融合による最新のがん治療法である「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」の研究・教育に取り組むセンターとして平成29年4月に設置された。本学が開発した画期的なホウ素薬剤と名古屋大学の中性子発生装置技術に加え、国際原子力機関（IAEA）や国内外一線級のBNCT研究者との連携により、岡山発の革新的で全世界に輸出可能ながん治療法の確立と、中性子医療という新規分野の拠点形成を目指している。
自然生命科学研究支援センター	生命科学をはじめとする自然科学領域の教育・研究の高度化、学際領域の融合、先端研究の推進、社会との連携等の進展などに対応した支援体制を強化し、本学における教育研究の一層の進展に資することを目的としている。研究領域を超えて長期的視点から一元的・有機的な運営を図ると共に、多面的な教育研究支援業務を行う。
生殖補助医療技術教育研究センター	生殖補助医療に不可欠な生殖補助医療技術者（胚培養士）を志す学生のキャリア養成教育や、現役胚培養士のリカレント教育の研究開発を行う。諸外国の教育研究機関と連携して世界的生殖研究拠点形成を目指している。
埋蔵文化財調査研究センター	学内遺跡の保護と調査研究を目的とし、建物の建設に伴う発掘調査等を通じて、縄文時代から近代にいたる遺跡の実態解明に取り組む。発掘調査報告書の刊行や、展示会の開催、および出土資料を用いた教育活動などを行っている。

附属学校

- 幼稚園（3年保育）
- 小学校
- 中学校
- 特別支援学校（小学部、中学部、高等部）

附属図書館

附属図書館は、県内最多の蔵書を有する図書館で、中央図書館、鹿田分館、資源植物科学研究所分館から構成されており、全体で約206万冊の図書を所蔵している。図書館のサービスは大学の枠を超え、地域や他の教育機関等に広く展開している。ホームページを基軸とした電子図書館サービスは学内出版物や約54,000タイトルの電子ジャーナル、29種のデータベースの提供、岡山大学の学術研究成果の発信など機能強化が進んでいる。

蔵書数

平成29年5月1日現在

区分	和漢書	洋書	計
中央図書館	1,165,889	477,165	1,643,054
鹿田分館	117,573	107,883	225,456
資源植物科学研究所分館	95,512	92,255	187,767
惑星物質研究所	571	4,456	5,027
合計	1,379,545	681,759	2,061,304

池田家文庫

附属図書館中央図書館では、旧岡山藩主池田家（1632-1871）が襲蔵してきた記録・古文書・絵図・和書・漢籍を約10万点所蔵している。

池田家文庫は、江戸時代幕藩制度の研究上、貴重な一次資料として広く知られている。古文書類はマイクロフィルム化（17分野、2,486リール）され、館内で閲覧利用することができる。絵図類はデジタル化がほぼ終了し、インターネットでも一部を公開している。また、毎年岡山シティミュージアムと共催で池田家文庫絵図展を開催し、地域の文化力向上に貢献している。



備前国図（慶長年間）

共同利用・共同研究拠点

- 資源植物科学研究所
植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点

平成21年に文部科学省より「植物遺伝資源・ストレス科学研究」の共同利用・共同研究拠点に認定され、平成22年度より共同研究を公募し、その遂行により我が国の当該研究の拡大と推進を補佐している。所内に保有する最先端共通研究機器の有効利用のため、大学内外の研究者との共同研究において簡便に利用できる体制を整えており、敷地内に宿泊施設を設置し、共同研究の推進を支援する環境も充実している。拠点認定以来すでに様々な共同研究の成果もたらされている。

- 惑星物質研究所
地球・惑星物質科学研究拠点

地球・惑星物質科学研究拠点として、前身の研究センターより引き続き共同利用・共同研究拠点の役割を担う。先進的な惑星物質科学研究の発展のため、自由闊達な学問の実践により社会的・文化的発展モデルとなる研究拠点を確立し学術コミュニティの発展に寄与することがそのミッションとなる。加えて拠点の国際的共同研究機能をさらに向上させ、国際的な研究交流を主導することによって新たな研究の方向性を切り拓く。

教育関係共同利用拠点

- 理学部附属臨海実験所
多様な生物を用いたグローバル先端実験教育のための共同利用拠点

中四国・九州の臨海実験所の中心として、平成23年4月、関連施設では初めて文部科学省により認定を受けた。平成28年4月からは、生体制御学を主とした高度な実験生物学の研究や実習の機会を国内外に提供する全国的な拠点として、再認定された。全国臨海臨湖実験所長会議議長校として、大学間連携のリード等も高く評価されている。

機構

センター名	事業内容
全学教育・学生支援機構	<p>本学の理念・教育目標を達成するため、1) 全学の教育システムの整備、2) 入学者選抜・高大接続、3) 教養教育・国際教育その他全学共通教育、4) 学修支援、5) 学生の生活支援、6) キャリア支援・就職支援等を推進するとともに、調査研究、企画、開発及び提言を行っている。</p> <p>「高等教育開発推進室」「教育開発センター」「基幹教育センター」「アドミッションセンター」「学生総合支援センター」「国際教育オフィス」の6つのセンター等により構成され、学部・研究科及び他の全学組織と連携しながら、統合的に活動している。</p>
研究推進産学官連携機構	<p>本学における学術研究の推進と産学官連携の推進を図るとともに、学術研究の成果である知的財産を組織的に管理・活用し、本学で生みだされた優れた研究成果を産学官連携を通じて社会に還元する等の役割を担っている。「研究推進本部」「産学官連携本部」「知的財産本部」「医療系本部」の4本部及び「産学官融合センター」「新技術研究センター」の2センターにより構成されている。</p>
安全衛生推進機構	<p>平成27年1月に発足。当機構は本学構成員等の安全と健康の確保を図り、安全衛生に関する本学の社会的責任を果たすため、所要の調査・研究を行い、安全衛生に関する本学の施策・方針を企画・立案するとともに、指導・助言を行う。また、学内組織である保健管理センターと環境管理センターを軸として全学センター、11学部と7研究科とも連携しながら安全衛生環境の向上を目指して協働する。</p>

教育研究プログラム戦略本部

中国・四国地域の中核大学としての責務を果たすとともに、産業・社会情勢などの変化及び学問領域の新たな発展に対応し、学部・研究科等の枠を超えて教育の高度化及び研究の活性化を戦略的に推進することを目的として平成20年6月に設置された。教育プログラム部門、プロジェクト研究部門、環境整備部門で構成されている。特定の教育研究プログラムの実施を行うための推進拠点を置いている。

センター名	事業内容
戦略的プログラム支援ユニット URA 執務室	<p>URAは研究体制や注力分野選定など、本学の研究方針に深く関わる本学経営陣のプレーン組織として、平成24年9月に設置された。本学が「リサーチ・ユニバーシティ：岡山大学」という地位を確立するための研究方針の策定・運用・管理や大学改革の推進支援を役割とし、本学経営陣と共に経営的判断に立って行動する。</p>
異分野融合先端研究コア (RCIS)	<p>平成20～24年度に文部科学省「テニュアトラック普及・定着事業（若手研究者の自立的な研究環境整備促進）」の支援を受け、自立した優秀な若手研究者を育成する場として設置され、のべ13名のテニュアトラック教員を育成してきた。平成29年度は RCIS に配属されているテニュア准教授4名が異分野融合新領域研究の確立・発展に向け、自立的環境下で活発な研究・教育活動を行っている。</p>
ナノバイオ標的医療イノベーションセンター (ICONT)	<p>文部科学省・平成18年度科学技術振興調整費「ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成」事業の中核拠点として、平成18年7月に設置され、産学連携学内特区に設定された。設立以来、協働企業※とともに、高齢化日本の喫緊の課題である『がん医療』を主たるターゲット領域とし、『革新的治療薬』、『新しい運搬システム (DDS)』、『先端標識技術 (分子イメージング)』を融合した『ヒトに優しい標的医療』の実現を目指して研究開発を続けてきた。</p> <p>現在の最重要課題は、難治固形がんに対する革新的REIC遺伝子医薬の臨床開発で、産学共同実用化開発事業 (NexTEP) の枠組みの下に、杏林製薬株式会社の参画を得て、悪性胸膜中皮腫を対象とした臨床第 I / II 相試験を実施している。さらに、肝がんに対する医師主導臨床第 I / II 相試験についても、本年度中の開始を予定している。</p> <p>※現在の協働企業：イーピーエス株式会社 / 杏林製薬株式会社 / 桃太郎源株式会社</p>
インド感染症共同研究センター	<p>平成19年に文部科学省「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」の実施のために、インド国立コレラおよび腸管感染症研究所内に設置された。このプログラムは平成27年度から日本医療研究開発機構「感染症研究国際展開戦略プログラム」(英名: Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases) として継続されている。研究センターには、岡山大学から3人の研究者(教授、准教授、助教)と1人の事務職員が常駐者として派遣され、腸管感染症を引き起こす微生物の基礎ならびにその応用研究を活発に展開している。</p>
エラスムス・ムンドゥス・パートナーシップ	<p>欧州の高等教育の質向上を目的とした、高等教育分野における欧州委員会の交流事業である「エラスムス・ムンドゥス計画 第II期2009-2013」内での欧州圏とアジア圏の学生・研究者交流を国際的枠組みで促進するプログラムである。</p> <p>人文社会、工学、自然科学、数学、情報と広い分野での欧州とアジアでの交流をテーマにしたBEAM(Build on Euro-Asian Mobility) プログラム(実施期間2010～2014年)に続く拡大版となる“持続可能なエネルギーの開発”を主テーマとするEASED(Euro-Asian Sustainable Energy Development)プログラム(実施期間2013～2017年)からなる。</p>

センター名	事業内容
先進基礎科学特別コース	自然科学研究科と環境生命科学研究科が協力し、両研究科の副専攻コースとして平成23年度に設置した。本特別コースでは、基礎学力を高める理数系科目に加えて、科学英語科目、インターンシップ科目、キャリア教育科目等を取り入れた先進的なカリキュラムを準備し、レベルの高い教育を実施している。これにより、企業の高度専門技術者や大学の先駆的研究者等の世界で活躍できる次世代プロジェクトリーダーを育成する。
グローバル最先端異分野融合研究機構	文部科学省研究大学強化促進事業の支援を受ける本学において、研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材群の確保・活用や集中的な研究環境改革を組み合わせた研究力強化に取り組み、本学が強みを持つ研究分野の研究や異分野融合研究を推進することで、研究の量・質を世界レベルまで高めて本学を日本の研究活動の牽引大学とすることを目的とする。
グローバル・ディスカバリー・プログラム	英語及び日本語による二言語教育を通じ、先進科学分野、国際連携分野などで持続可能なグローバル社会の構築に貢献する人材育成を目指す学士課程教育プログラムである（2017年10月開始）。世界各地から集まった海外生・帰国生、日本国内の高校出身者など、多様な背景と経験を持つ学生の協働と学び合いを基礎とし、グローバル実践知の習得を可能にする。

ダイバーシティ推進本部

岡山の雇用及び継続的な就業における障壁を取り除き、多様な職員が持てる技能を最大限に発揮させ、本学の持続的発展に資することを目的として、平成21年1月に設置された。

男女共同参画室、次世代育成支援室、障がい者雇用推進室、高齢者雇用安定室の4つの室から構成されており、これらの室を中心に、様々な施策を企画・実施し、長期的視野で組織の持続的発展を図り、全ての職員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を目指す。

海外オフィス

事務所名	事業内容
岡山大学ベトナム事務所	当事務所は本学初の海外事務所であり、学術・教育交流の推進、本学の情報発信並びに国際的に活躍できる本学教職員の養成を行う目的で設置された。平成19年4月から現地スタッフ1人を常駐させ、広くベトナム全域を対象に本学の広報活動や優秀な留学生の確保に向けた諸活動を行っている。
岡山大学中国事務所（長春・瀋陽・上海）	平成19年8月に長春事務所（東北師範大学内）及び瀋陽事務所（中国医科大学内）を、平成27年10月に上海事務所（上海理工大学内）を設置した。中国の重点大学との共同学位プログラムの運営、研究者との情報交換といった学生・学術交流を推進するほか、本学への留学を希望する中国人学生への助言・情報提供、本学のPR活動、国際同窓会中国支部の活動支援等を行っている。また、平成26年11月には長春事務所を国立六大学（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）の事務所として共用を開始した。
岡山大学ロンドン事務所	平成27年4月に設置された当事務所は、本学の広報活動や英国の大学・研究機関等との連携強化活動を通じて、学生及び教職員間のグローバル化推進を目指す。本学の英国における窓口としての役割を担い、本学の知名度向上に向けて積極的な情報発信を行う。
岡山大学シリコンバレーオフィス	平成27年11月に米国シリコンバレーに位置するカリフォルニア州フリーモント市に「シリコンバレーオフィス」を開設した。シリコンバレーを中心とした北米の大学、企業、研究所等との国際共同研究、技術移転を推進する国際産学官連携、岡山県・岡山市をはじめ、シリコンバレーや北米の情報発信・コンタクトの機会の提供など北米への架け橋の役目を担う地域貢献、先端的研究教育拠点の設置を推進する学術研究交流、留学生へのサポート事業などを展開するグローバル人材育成という4つのミッションを掲げ業務を行っている。
国立六大学欧州事務所（オランダ）	平成28年8月に国立六大学（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）の共同事務所として設置した。当事務所は、国立六大学の欧州地域における研究教育活動の支援をはじめ、オランダのみならず欧州大学ネットワークおよび大学アライアンス間連携の推進を主な目的としている。また、六大学の起源である蘭学の歴史およびオランダとの学術的・文化的結びつきに関する情報の発信を行う。
岡山大学 日本留学情報センター（ミャンマー）	平成26年10月に文部科学省委託事業「留学コーディネーター配置事業（ミャンマー）」に採択され、ミャンマーからの留学生受け入れを促進するため、平成27年2月にヤンゴン市内に「岡山大学 日本留学情報センター」を設置した。同年3月には、様々な機関の垣根を越え、オールジャパンで日本留学を促進するための司令塔となる留学コーディネーターを常駐させている。

統計

役職員数

平成29年5月1日現在

区分	学長	理事	監事	監事（非常勤）	計
役員	1	6	1	1	9

区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	計	事務・技術職員	合計
事務局		1		[1]			1 [1]	203 [40] (7)	204 [41] (7)
大学院教育学研究科	64	34 [2]	10	2 [1]			110 [3]	17 [4] (1)	127 [7] (1)
大学院社会文化科学研究科	67	46 [2]	2 [1]	2 [3]	1		118 [6]	23	141 [6]
附属東アジア国際協力・教育研究センター		1					1		1
大学院自然科学研究科	83 [1]	63 [1]	14 [4]	54 [11]	2		216 [17]	50 [8]	266 [25]
大学院保健学研究科	22	11	4	19	1		57		57
大学院環境生命科学研究科	51	52	1	14 [8]	1		119 [8]	[2]	119 [10]
附属低炭素・廃棄物循環研究センター									
大学院医歯薬学総合研究科	72 [11]	58 [11]	13 [5]	121 [26]	2		266 [53]	50 [89]	316 [142]
附属薬用植物園				1			1		1
附属医療教育統合開発センター									
大学院法務研究科	14	3		1			18	[1]	18 [1]
附属弁護士研修センター									
文学部									
教育学部									
附属学校						98 [2]	98 [2]	8 (1)	106 [2] (1)
法学部									
経済学部									
理学部								5 [1]	5 [1]
附属臨海実験所				[2]			[2]	1 [1]	1 [3]
附属界面科学研究施設									
医学部								19 [2] (1)	19 [2] (1)
歯学部								1	1
薬学部								3	3
工学部								17 (3)	17 (3)
環境理工学部								3	3

区 分	教授	准教授	講 師	助 教	助 手	教 諭	計	事務・ 技術職員	合 計
農学部									
附属山陽圏フィールド科学センター								6 [1]	6 [1]
資源植物科学研究所	6	7		5 [8]			18 [8]	14 [2]	32 [10]
附属大麦・野生植物資源研究センター	3	4		5 [2]			12 [2]	3	15 [2]
惑星物質研究所	6 [1]	8 [1]		2 [1]	[1]		16 [4]	7 [5]	23 [9]
異分野基礎科学研究所	12 [4]	11 [4]	[5]	6 [13]			29 [26]	[4]	29 [30]
岡山大学病院	20 [2]	14 [1]	58 [2]	105 [69]			197 [74]	797 [903] (8)	994 [977] (8)
評価センター									
保健管理センター	2	1		2 [1]			5 [1]	5	10 [1]
環境管理センター	2	3		1			6		6
情報統括センター	2	2					4	9	13
耐災安全・安心センター								[1]	[1]
次世代人材育成センター									
グローバル・パートナーズ	3	1 [1]	[4]				4 [5]	16 [15]	20 [20]
グローバル人材育成院	7	8					15		15
地域総合研究センター	2	[2]		1 [1]			3 [3]	[1]	3 [4]
教師教育開発センター	2	1	1				4		4
中性子医療研究センター	2 [2]	2 [1]					4 [3]	[2]	4 [5]
自然生命科学支援センター	2	1		3 [4]	1		7 [4]	9 [11] (1)	16 [15] (1)
生殖補助医療技術教育研究センター		[1]		[1]			[2]		[2]
埋蔵文化財調査研究センター	1			4			5	[1]	5 [1]
附属図書館								23	23
全学教育・学生支援機構	13 [1]	24 [1]	[6]	2 [1]			39 [9]	[1]	39 [10]
研究推進産学官連携機構	2 [1]	2 [1]					4 [2]	[7]	4 [9]
安全衛生推進機構	1						1		1
戦略的プログラム支援ユニット								[13]	[13]
異分野融合先端研究コア		4		[2]			4 [2]	[3]	4 [5]
合計	461 [23]	362 [29]	103 [27]	350 [155]	8 [1]	98 [2]	1,382 [237]	1,289 [1,118] (22)	2,671 [1,355] (22)

注1：[]は契約職員（フルタイム）、()は再雇用職員（フルタイム）でともに外数。

注2：岡山大学東京オフィス、法人監査室は事務局に含む。

学生数

大学院

平成29年5月1日現在

研究科	区分	専攻	入学定員	収容定員	現 員					
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
教育学研究科 (修士課程)		学校教育学専攻	6	12	4	10				14
		発達支援学専攻	9	18	7	9				16
		教科教育学専攻	47	94	37	39				76
		教育臨床心理学専攻	8	16	9	10				19
		小計	70	140	57	68				125
社会文化科学研究科 (博士前期課程)		社会文化基礎学専攻	27	54	25	24				49
		比較社会文化学専攻	40	80	50	33				83
		公共政策科学専攻	19	38	11	14				25
		組織経営専攻	14	28	12	22				34
		小計	100	200	98	93				191
自然科学研究科 (博士前期課程)		数理物理科学専攻	38	76	34	37				71
		分子科学専攻	24	48	24	24				48
		生物科学専攻	22	44	18	20				38
		地球科学専攻	16	32	15	18				33
		機械システム工学専攻	98	196	113	117				230
		電子情報システム工学専攻	90	180	103	107				210
		応用化学専攻	50	100	54	59				113
		生命医用工学専攻	57	114	70	65				135
		小計	395	790	431	447				878
保健学研究科 (博士前期課程)		保健学専攻	26	52	27	33				60
		小計	26	52	27	33				60
環境生命科学研究科 (博士前期課程)		社会基盤環境学専攻	30	60	25	33				58
		生命環境学専攻	23	46	22	19				41
		資源循環学専攻	43	86	37	55				92
		生物資源科学専攻	25	50	29	20				49
		生物生産科学専攻	38	76	26	25				51
		小計	159	318	139	152				291
医歯薬学総合研究科 (修士課程)		医歯科学専攻	20	40	26	27				53
		小計	20	40	26	27				53
医歯薬学総合研究科 (博士前期課程)		薬科学専攻	40	80	40	32				72
		小計	40	80	40	32				72
合計 (修士課程・博士前期課程)			810	1,620	818	852				1,670
社会文化科学研究科 (博士後期課程)		社会文化学専攻	12	36	11	12	34			57
		小計	12	36	11	12	34			57

研究科	区分	専攻	入学定員	収容定員	現 員					
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
自然科学研究科 (博士課程)		地球惑星物質科学専攻	4	20	6	1		6	2	15
		小計	4	20	6	1		6	2	15
自然科学研究科 (博士後期課程)		数理物理科学専攻	10	30	2	6	7			15
		地球生命物質科学専攻	17	51	13	10	10			33
		産業創成工学専攻	21	63	11	13	25			49
		応用化学専攻	7	21	4	4	2			10
		生命医用工学専攻	10	30	9	10	7			26
		化学生命工学専攻					7			7
		先端基礎科学専攻					1			1
		機能分子化学専攻					2			2
		小計	65	195	39	43	61			143
保健学研究科 (博士後期課程)		保健学専攻	10	30	11	11	47			69
		小計	10	30	11	11	47			69
環境生命科学研究科 (博士後期課程)		環境科学専攻	22	66	20	15	34			69
		農生命科学専攻	20	60	16	16	29			61
		小計	42	126	36	31	63			130
医歯薬学総合研究科 (博士課程)		生体制御科学専攻	25	100	33	31	31	59		154
		病態制御科学専攻	62	248	72	71	71	162		376
		機能再生・再建科学専攻	28	112	34	30	47	64		175
		社会環境生命科学専攻	13	52	16	16	19	24		75
		小計	128	512	155	148	168	309		780
医歯薬学総合研究科 (博士後期課程)		薬科学専攻	10	30	2	4	10			16
		小計	10	30	2	4	10			16
合計 (博士課程・博士後期課程)			271	949	260	250	383	315	2	1,210
教育学研究科 (専門職学位課程)		教職実践専攻	20	40	19	20				39
法務研究科 (専門職学位課程)		法務専攻	24	84	10	16	24			50
合計 (専門職学位課程)			44	124	29	36	24			89
総 計			1,125	2,693	1,107	1,138	407	315	2	2,969
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究 科 (後期3年のみの博 士課程)		学校教育実践学専攻	10	26	3	2	5			10
		先端課題実践開発専攻	5	14	2	1	3			6
		教科教育実践学専攻	17	48	3	5	9			17
		小計	32	88	8	8	17			33

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学(指導教員)に属する学生の学生数である。

学部

平成29年5月1日現在

学 部	学科・課程	入学定員	収容定員	現 員						計
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
文学部	人文学科	175	700	181	188	193	222			784
	小計	175	700	181	188	193	222			784
教育学部	学校教育教員養成課程	250	1,000	262	262	257	297			1,078
	養護教諭養成課程	30	120	30	30	30	32			122
	小計	280	1,120	292	292	287	329			1,200
法学部	法学科（昼間コース）	205	820	208	214	212	258			892
	法学科（夜間主コース）	20	80	23	20	22	32			97
	小計	225	900	231	234	234	290			989
経済学部	経済学科（昼間コース）	205	820	213	214	217	260			904
	経済学科（夜間主コース）	40	160	43	42	44	53			182
	小計	245	980	256	256	261	313			1,086
理学部	数学科	20	80	21	20	32	26			99
	物理学科	35	140	34	36	50	41			161
	化学科	30	120	31	32	49	35			147
	生物学科	30	120	30	33	42	34			139
	地球科学科	25	100	27	25	38	32			122
	小計	140 <20>	560 <40>	143	146	211	168			668
医学部	医学科	115 [5]	690 [25]	115	135	115	121	125	112	723
	保健学科	160 <20>	640 <40>	159	162	177	189			687
	小計	275 [5] <20>	1,330 [25] <40>	274	297	292	310	125	112	1,410
歯学部	歯学科	48 [5]	288 [10] <10>	49	51	57	48	47	50	302
	小計	48 [5]	288 [10] <10>	49	51	57	48	47	50	302
薬学部	薬学科	40	240	41	42	43	38	43	40	247
	創薬科学科	40	160	41	43	44	43			171
	小計	80	400	82	85	87	81	43	40	418
工学部	機械システム系学科	160	640	163	189	190	185			727
	電気通信系学科	100	400	105	112	121	112			450
	情報系学科	60	240	62	74	63	65			264
	化学生命系学科	140	560	143	153	157	166			619
	機械工学科						1			1
	電気電子工学科				1		2			3
	情報工学科						2			2
	通信ネットワーク工学科					1	3			4
	小計	460 <30>	1,840 <60>	473	529	532	536			2,070
環境理工学部	環境数理学科	20	80	19	22	27	19			87
	環境デザイン工学科	50	200	53	52	63	48			216
	環境管理工学科	40	160	40	41	41	46			168
	環境物質工学科	40	160	44	42	48	44			178
	小計	150	600	156	157	179	157			649
農学部	総合農業科学科	120	480	128	123	130	134			515
	小計	120	480	128	123	130	134			515
マッチングプログラムコース				18	22	19	17			76
	小計	-		18	22	19	17			76
	合計	2,198 [10] <70>	9,198 [35] <150>	2,283	2,380	2,482	2,605	215	202	10,167

[] は、第2年次編入学定員で外数
 < > は、第3年次編入学定員で外数

専攻科・別科

平成29年5月1日現在

区分	定員	現員
特別支援教育特別専攻科	15	8
養護教諭特別別科	40	33

児童・生徒及び園児数

平成29年5月1日現在

区分	学級数	総定員	児童・生徒及び園児数						
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校	18	630	105	105	103	103	101	105	622
中学校	15	540	180	179	176				535
特別支援学校	小学部	3	6		6		6		18
	中学部	3	4	6	6				16
	高等部	3	8	8	8				24
幼稚園	3年保育	6	144	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)			
				48	48	47			143

入学者数

大学院

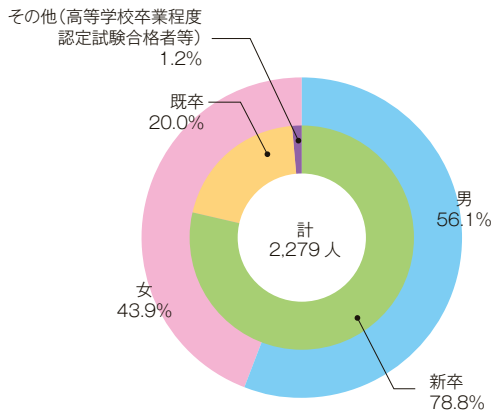
区分	入学定員	入学時期	志願者数		入学者数	
			男	女	男	女
■修士課程及び博士前期課程						
教育学研究科	70	平成29年4月	37	44	26	30
		平成28年10月	1		1	
社会文化科学研究科	100	平成29年4月	63	49	40	30
		平成28年10月	6	26	5	20
自然科学研究科	395	平成29年4月	443	61	377	46
		平成28年10月	2	2	2	2
保健学研究科	26	平成29年4月	12	28	11	16
環境生命科学研究科	159	平成29年4月	126	49	98	39
		平成28年10月				
医歯薬学総合研究科	60	平成29年4月	47	32	38	22
		平成28年10月	1	1	1	1
小計	810		738	292	599	206
			1,030		805	
■博士課程及び博士後期課程						
社会文化科学研究科	12	平成29年4月	5	7	3	5
		平成28年10月	1	2	1	2
自然科学研究科	69	平成29年4月	21	4	20	4
		平成28年10月	16	7	16	5
保健学研究科	10	平成29年4月	3	9	3	8
環境生命科学研究科	42	平成29年4月	11	9	10	8
		平成28年10月	11	9	11	8
医歯薬学総合研究科	138	平成29年4月	99	40	94	39
		平成28年10月	4	4	3	4
小計	271		171	91	161	83
			262		244	
■専門職学位課程						
教育学研究科	20	平成29年4月	17	9	12	7
法務研究科	24	平成29年4月	40	17	8	5
小計	44		57	26	20	12
			83		32	
合計	1,125		966	409	780	301
			1,375		1,081	
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	32	平成29年4月	9	7	5	3

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の入学者数である。

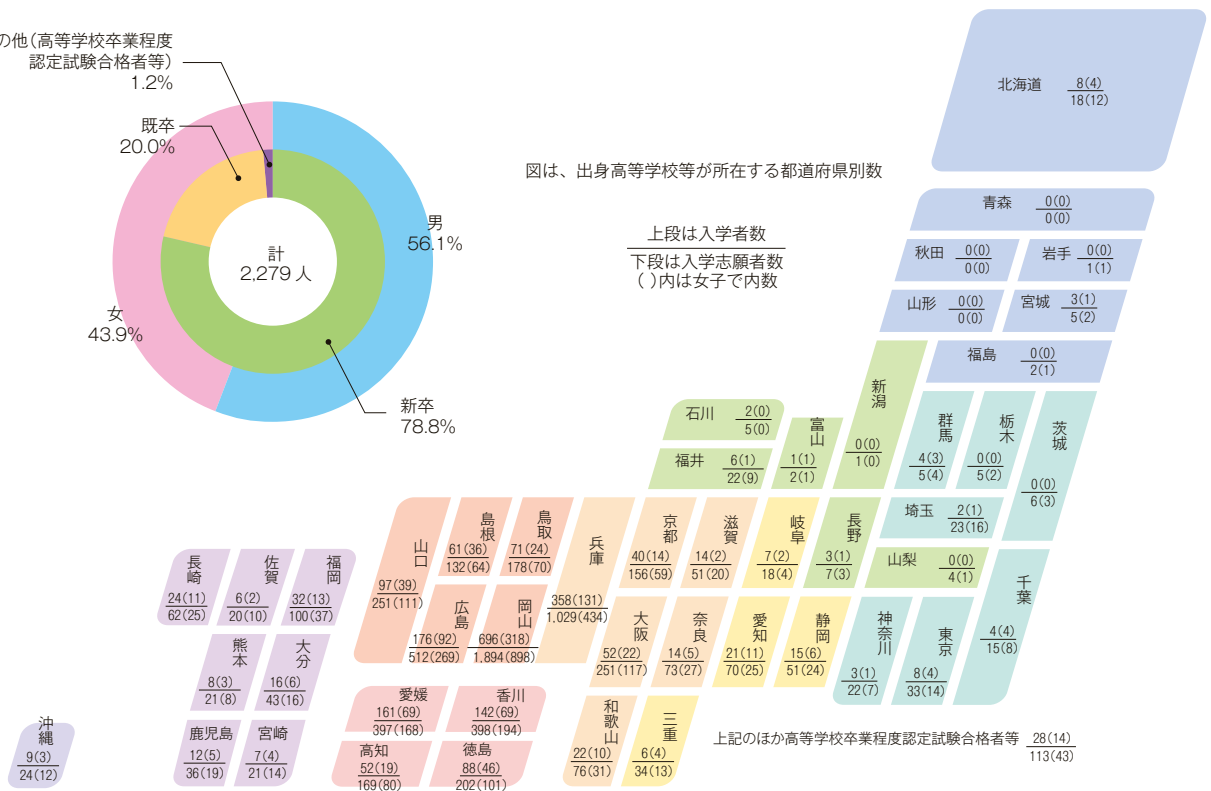
学部

平成29年度

区分	入学定員	志願者数		入学者数		入学者の出身地別(百分比)		
		男	女	男	女	県内	県外	
文学部	175	197	369	57	124	27.6	72.4	
教育学部	280	196	451	103	189	36.6	63.4	
法学部	法学科(昼間コース)	205	380	321	100	108	26.0	74.0
	法学科(夜間主コース)	20	54	52	10	13	39.1	60.9
経済学部	経済学科(昼間コース)	205	464	240	138	75	28.6	71.4
	経済学科(夜間主コース)	40	59	34	27	16	79.1	20.9
理学部	140	217	98	101	41	25.4	74.6	
医学部	医学科	115	304	166	87	28	32.2	67.8
	保健学科	160	122	394	31	126	29.3	70.7
歯学部	48	70	103	17	31	20.8	79.2	
薬学部	薬学科	40	76	202	10	31	12.2	87.8
	創薬科学科	40	71	72	26	14	30.0	70.0
工学部	460	925	208	390	83	33.8	66.2	
環境理工学部	150	274	71	125	32	26.8	73.2	
農学部	120	152	173	50	78	20.3	79.7	
マッチングプログラムコース		20	23	6	12	38.9	61.1	
合計	2,198	3,581	2,977	1,278	1,001	30.5	69.5	
		6,558		2,279				



図は、出身高等学校等が所在する都道府県別数



卒業生進路（修了者就職状況）

大学院

平成29年5月1日現在

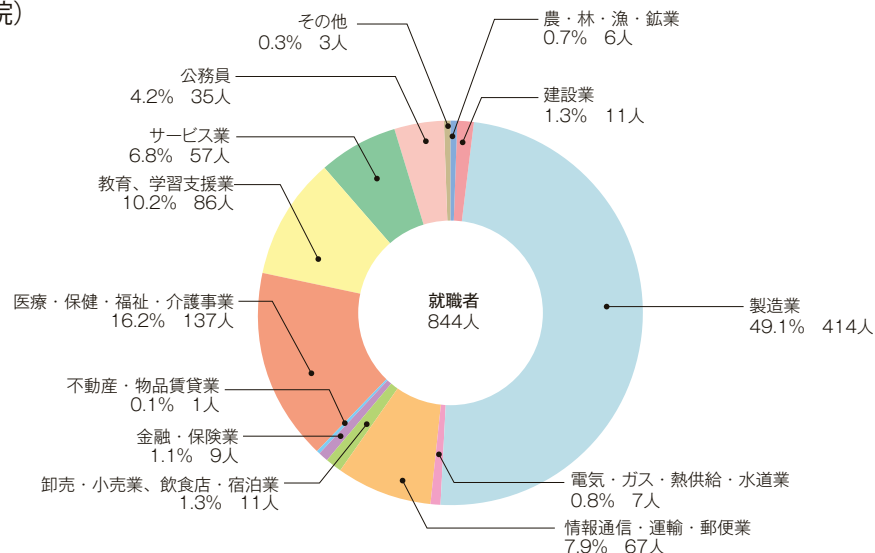
区分	修了者数	進学者数	就職者数	産業別就職者数																			
				農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信・運輸・郵便業	卸売・小売業・飲食店・宿泊業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	医療・保健・福祉・介護事業	教育、学習支援業						サービス業	国家公務	地方公務	その他	
													小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校					その他教職員
■修士課程・博士前期課程																							
教育学研究科	55 (31)	6 (1)	36 (19)						2 (1)	1 (1)	1		4 (4)	8 (5)	8 (2)	6 (2)		2 (2)	3 (2)		1		
社会文化科学研究科	69 (43)	7 (6)	42 (23)			7 (5)		6 (5)	2 (2)	5			1 (1)					4 (2)	5 (1)	3 (3)	9 (4)		
自然科学研究科	401 (44)	9 (4)	384 (43)	3 (1)	2	296 (37)	6	44 (2)	6 (1)	2						4		1 (1)	16 (1)	1	3 (1)		
保健学研究科	33 (25)	2 (1)	29 (22)										29 (22)										
環境生命科学研究科	139 (53)	13 (7)	113 (38)	2 (1)	7 (20)	50	1	10 (1)	2		1		1			2 (2)		5 (3)	15 (6)	1	16 (5)		
医歯薬学総合研究科	62 (30)	5 (3)	50 (21)			41 (18)		1					1					1 (1)	4 (1)		2 (1)		
小計	759 (226)	42 (18)	654 (166)	5 (1)	9 (1)	394 (80)	7 (0)	63 (8)	11 (5)	8 (0)	1 (0)	36 (27)	8 (5)	8 (2)	12 (4)			2 (2)	14 (8)	40 (9)	6 (3)	28 (10)	2 (1)
■博士課程・博士後期課程																							
社会文化科学研究科	8 (4)	1 (2)	3 (1)			1 (1)													2 (1)				
自然科学研究科	38 (9)		31 (7)			12 (2)		4		1								5 (2)	9 (3)				
自然科学研究科 5年一貫制	4 (2)																						
保健学研究科	7 (4)		7 (4)										1						6 (4)				
環境学研究科	1		1																	1			
環境生命科学研究科	21 (6)		11 (1)	1	2													2 (1)	6				
医歯薬学総合研究科	119 (32)		114 (31)			7 (1)							100 (28)					5 (1)			1	1 (1)	
小計	198 (57)	1 (0)	167 (45)	1 (0)	2 (0)	20 (4)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	101 (28)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (9)	16 (3)	0 (0)	1 (0)	1 (1)
■専門職学位課程																							
教育学研究科	23 (11)		22 (11)										12 (8)	5	3 (1)				2 (2)				
法務研究科	12 (2)		1																	1			
小計	35 (13)	0 (0)	23 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (8)	5 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	992 (296)	43 (18)	844 (222)	6 (1)	11 (1)	414 (84)	7 (0)	67 (8)	11 (5)	9 (0)	1 (0)	137 (55)	20 (13)	13 (2)	15 (5)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	34 (17)	57 (12)	6 (3)	29 (10)	3 (2)
■後期3年のみの博士課程																							
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	3 (2)		2 (2)																			2 (2)	

※（ ）内は、女子を内数で示す。

※修了者数には単位修得満期退学者を含む。

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の卒業者数である。

産業別就職状況（大学院）



歴代学長、学生層、理念・目的・目標

沿革

組織

役割

職

員

教育研究組織等

統計

国際交流

社会連携・関連組織

アクセス

キャンパスマップ

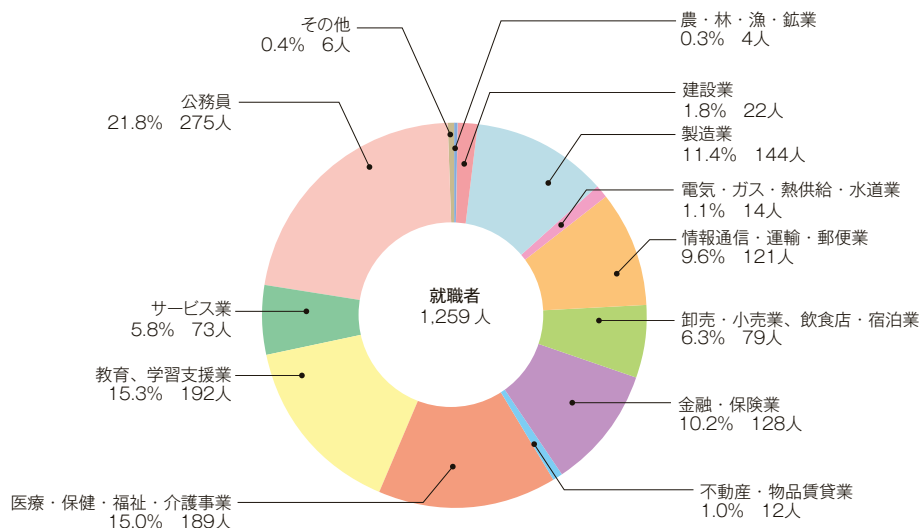
学部

平成29年5月1日現在

区 分	卒業 者数	進学 者数	就職 者数	産業別就職者数																			
				農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信・運輸・郵便業	卸売・小売業・飲食店・宿泊業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	医療・保健・福祉・介護事業	教育、学習支援業						サービス業	国家公務	地方公務	その他	
													小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校					その他教職員
文学部	192 (129)	21 (9)	154 (109)		1	16 (13)	3 (1)	23 (18)	13 (8)	20 (20)	4 (3)	4 (3)		2 (2)	10 (5)		5 (1)	15 (9)	12 (7)	26 (19)			
教育学部	286 (197)	36 (18)	229 (166)			6 (6)	1 (1)	10 (5)	9 (5)	18 (16)	1 (1)	5 (5)	92 (68)	31 (16)	12 (6)		2 (2)	12 (11)	6 (4)	7 (3)	3 (1)	14 (11)	
法学部 (昼間コース)	187 (85)	17 (4)	152 (74)		2	2 (2)	1 (1)	15 (10)	9 (2)	15 (10)	1 (1)	4 (2)						3 (1)	5 (4)	51 (22)	43 (19)	1	
法学部 (夜間主コース)	17 (6)		14 (4)	1		1		3	2 (1)	1 (1)		1 (1)		1 (1)				2				2	
経済学部 (昼間コース)	189 (69)	5 (1)	167 (65)		2	19 (3)	3 (1)	17 (5)	11 (7)	48 (24)	3 (2)	2 (2)						1 (6)	12 (5)	12 (10)	36 (10)	1	
経済学部 (夜間主コース)	30 (17)		30 (17)			3		3 (1)	9 (5)	4 (4)		1 (1)						1 (4)	6 (2)		2 (1)	1 (1)	
理学部	144 (32)	92 (16)	45 (16)			9 (3)	2 (2)	10 (3)	4 (1)	3 (1)		1 (1)		1 (1)	5 (1)			1 (1)	3 (1)	1 (1)	5 (1)		
医学部医学科	120 (44)	1	1																			1	
医学部保健学科	166 (131)	15 (9)	148 (120)			3 (3)						144 (116)							1 (1)				
歯学部	54 (24)																						
薬学部薬学科	38 (24)	1 (22)	33 (22)			3 (2)			10 (8)			20 (12)											
薬学部創薬科学科	38 (13)	37 (12)	1 (1)									1 (1)											
工学部	486 (64)	330 (34)	146 (29)	1	5 (10)	64 (10)	3 (8)	29 (8)	4 (1)	7 (2)	2 (1)	1 (1)		2 (1)				13 (1)	4 (3)	10 (3)	1		
環境理工学部	146 (30)	73 (10)	69 (20)		11 (5)	2 (1)	1 (4)	8 (4)	1 (1)	2 (1)	1 (1)			1 (1)				6 (3)	7 (2)	29 (4)			
農学部	119 (70)	55 (27)	59 (38)	2 (1)	1 (10)	14 (10)		2 (2)	4 (1)	6 (2)		5 (5)		1 (1)				4 (3)	2 (2)	18 (11)			
マッチング プログラムコース	14 (9)	2 (1)	11 (8)			2 (1)		1 (1)	3 (3)	4 (3)								1					
合計	2,226 (944)	685 (141)	1,259 (689)	4 (2)	22 (5)	144 (54)	14 (6)	121 (57)	79 (42)	128 (84)	12 (8)	189 (150)	92 (68)	35 (19)	31 (14)	0 (0)	2 (2)	13 (12)	19 (7)	73 (37)	92 (42)	183 (79)	6 (1)

注：() 内は、女子を内数で示す。

産業別就職状況 (学部)



専攻科・別科

平成29年5月1日現在

区 分	修了者数	進学者数	就職状況			その他
			民間企業	教員	公務員	
特別支援教育特別専攻科	7			7		
養護教諭特別別科	37		8	20		9

奨学生数

大学院

平成29年5月1日現在

研究科	日本学生支援機構		地方公共団体・ その他	計
	第一種貸与	第二種貸与		
■修士課程・博士前期課程				
教育学研究科	22	4		26
社会文化科学研究科	2			2
自然科学研究科	202	28	2	232
保健学研究科	6	1		7
環境生命科学研究科	66	3		69
医歯薬学総合研究科	14	5	2	21
■博士課程・博士後期課程				
社会文化科学研究科	1			1
自然科学研究科	12		1	13
保健学研究科	2			2
環境生命科学研究科	4			4
医歯薬学総合研究科	35		1	36
■専門職学位課程				
法務研究科	13	2	4	19
合計	379	43	10	432

※新入生を除く

学部

平成29年5月1日現在

学部	日本学生支援機構		地方公共団体・ その他	計	
	第一種貸与	第二種貸与			
文学部	145	68	6	219	
教育学部	206	136	6	348	
法学部	法学科（昼間コース）	159	114	12	285
	法学科（夜間主コース）	19	6	1	26
経済学部	経済学科（昼間コース）	162	107	6	275
	経済学科（夜間主コース）	42	12	1	55
理学部	99	86	3	188	
医学部	医学科	71	72	7	150
	保健学科	141	92	6	239
歯学部	30	26	1	57	
薬学部	薬学科	48	27	5	80
	創薬科学科	27	21	4	52
工学部	333	260	10	603	
環境理工学部	93	78	2	173	
農学部	79	48	1	128	
マッチングプログラムコース	20	13	2	35	
合計	1,674	1,166	73	2,913	

※新入生を除く

学位授与者数

平成29年3月25日現在

種 類	修 士	博 士		専 門 職 学 位	旧 制 博 士
		課 程 修 了	論 文 提 出		
文 化 科 学	30	14	2		
公 共 政 策 学	34				
学 術 学	147	633	85		
文 学	1,231	81	7		
教 育 学	2,203				
法 学	434	19	6		
経 済 学	368	35	2		
経 営 学	129				
理 学	3,059	340	61		
医 学		2,562	3,816		2,461
医 科 生 学	263				
公 衆 衛 生 学	4				
看 護 学	154	9			
保 健 学	209	59	6		
歯 学		555	92		
歯 科 学	32				
薬 学	1,566	271	138		
薬 科 学	209	8	4		
工 学	8,292	589	151		
環 境 理 工 学	484	13	2		
環 境 学	960	97	3		
農 学	2,511	279	100		
教 職 修 士				168	
法 務 博 士				349	
合 計	22,319	5,564	4,475	517	2,461

※学士を除く。

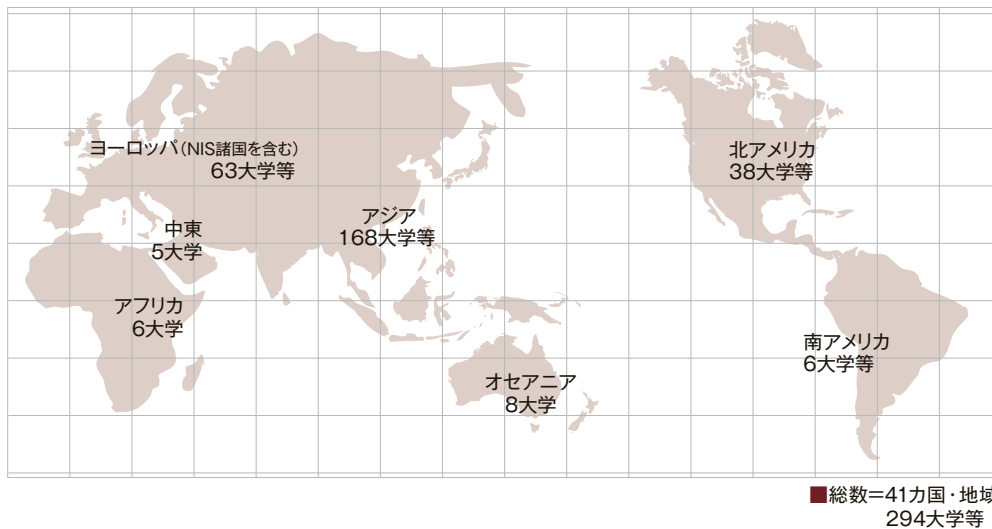
岡山大学病院病床数及び患者数

平成28年度

区 分	病 床 数	1 日 平 均	
		入 院 患 者 数	外 来 患 者 数
医 科	826	696	2,065
歯 科	23	21	667
合 計	849	717	2,732

協定大学等分布

平成29年5月1日現在



協定一覧

大学間協定150件

国・地域名	大学等名
インドネシア	ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ガジャマダ大学、アンダラス大学、インドネシア大学
カンボジア	カンボジア国立教育大学、王立プノンベン大学、カンボジア王国労働・職業訓練省労働安全衛生部門
タイ	マヒドン大学、メージョー大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソンクラーク大学、チェンマイ大学
台湾	国立台湾大学、国立台北科技大学、開南大学、国立中興大学、輔仁大学、長庚大学、国立高雄大学、高雄医学大学
大韓民国	光州科学技術院、成均館大学校、高麗大学校、江原大学校、全南大学校
大韓民国・中華人民共和国	上海中医薬大学・圓光大学校※1
中華人民共和国	東北師範大学、内蒙古農業大学、鄭州大学、北京航空航天大学、中国科学院昆明植物研究所、大連工業大学、遼寧科技大学、同済大学、中国医科大学、ハルビン医科大学、大連医科大学、吉林大学、北京信息科技大学、上海理工大学、河南科技大学、内蒙古大学、首都師範大学、長春理工大学、陝西師範大学、ハルビン工程大学、華東政法大学、延辺大学、中山大学、吉林華橋外国語学院、南方医科大学、北京外国語大学、河北医科大学、中国政法大学、東北大学、天津市中心婦産科医院、浙江工業大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
ベトナム	ダラット大学、フエ大学、ハノイ工科大学、ベトナム国家大学ハノイ、ハイフォン医科薬科大学、ノンラム大学
マレーシア	マレーシア工科大学、マラヤ大学、マレーシアブトラ大学
ミャンマー	ミャンマー国保健省医科学局及び医学研究局、マンダレー工科大学、ヤンゴン工科大学、ヤンゴン看護大学、ヤンゴン第一医科大学、パテイン大学、ヤンゴン第二医科大学、ミャンマー国保健省食品医薬品局
モンゴル	モンゴル国立農業大学、モンゴル国立大学
トルコ	カラデニズ工科大学、エーゲ大学、トゥルグットオザル大学、ジルベ大学
ウガンダ	マケレレ大学
エジプト	カイロ大学
ガーナ	ガーナ大学
ケニア	ジョモケニアアツタ農工大学
オーストラリア	サウスオーストラリア大学、アデレード大学、ウエスタンオーストラリア大学、サザンクロス大学、スウィンバーン工科大学
アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学、カリフォルニア州立大学イーストベイ校、カンザス大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、カリフォルニア州立大学フラトン校、南オレゴン大学、メリーランド大学ボルチモア校、アリゾナ州立大学、グアム大学、カリフォルニア州立大学モンテレイベイ校、ハワイ大学マノア校、ピッツバーグ大学、チャタム大学、アパラチアン州立大学、ノーザンアイオワ大学、ウエイン州立大学、ポートランド州立大学、ミズーリ大学、ダラスバプティスト大学、ウィチタ州立大学、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
カナダ	アルバータ大学、ピショップス大学、カールトン大学、ケベック先端科学技術大学院大学 (INRS)
ブラジル	リオデジャネイロ州立大学、バウリスタ大学、サンパウロ大学
イタリア	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学、ローマ・ラ・サビエンツァ大学、トリノ大学
英国	シェフィールド大学、カーディフ大学、エジンバラ大学、イースト・アングリア大学、ヨーク・セントジョン大学、サリー大学、ケント大学
オーストリア	国際原子力機関
オランダ	ユトレヒト大学カレッジ
スペイン	ムルシア大学
セルビア	ノヴィサド大学、ベオグラード大学
ドイツ	ハノーファー大学、ドレスデン工科大学
フランス	ピエール・マリキュリー大学、ストラスブール大学、ボルドーモンテーニュ大学、グルノーブル大学連合、西ブルターニュ大学、クレルモン・オーベルニュ大学、トゥールーズ第3ポール・サバティエ大学、ボワティエ大学、トゥールーズ国立工科大学
ポーランド	アダム・ミツキエヴィチ大学
ポルトガル	リスボン大学

注：※1印は、3大学間協定であることを示す。

協定一覧

部局間協定144件

国・地域名	大学等名
社会科学科学研究科	
台湾	淡江大学国際研究学院日本政経研究所、国立嘉義大学人文芸術学院、政治大学法学院、国立中正大学社会科学学院・法学院※2
大韓民国	国民大学校社会科学大学国際学部
中華人民共和国	上海社会科学院部門経済研究所、浙江大学経済学院、復旦大学中国語文学系、山東大学韓国学院、吉林省社会科学院、上海海事大学法学院
トルコ	チャナッカレ・オンセキス・マルト大学社会科学研究所
スペイン	サラマンカ大学
ドイツ	ベルリン自由大学歴史・文化学部
自然科学研究科	
インドネシア	スラバヤ工科大学、スラバヤ電子工学ポリテック、プラウィジャヤ大学理学部、インドネシア原子力庁・アイソトープ放射線利用センター
台湾	国立台湾師範大学
大韓民国	漢陽大学工学部、昌原大学校メカトロニクス大学
中華人民共和国	浙江大学材料及び化学工程学院、西安交通大学、中国科学院上海有機化学研究所、北京大学医学部、中国科学院大連化学物理研究所、中国人民大学化学科、香港中文大学理学院化学科、中国科学院福建物質構造研究所、厦門大学・材料学院、北京大学生命科学学院、中国科学院北京植物研究所
エジプト	サウスバリー大学、エルメノフェイア大学理学部
アメリカ合衆国	パーデュー大学理学部
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部
スペイン	ジローナ大学理学部
チェコ	ブラハ化学工学大学食品生化学部、カレル大学理学部
デンマーク	コペンハーゲン大学理学部
ドイツ	ミュンスター大学生物学部
ブルガリア	ソフィア大学化学及び薬学部
ポーランド	ポーランド科学アカデミー物理学研究所
ロシア	ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所
保健学研究科	
タイ	シーマハサラカム看護大学
環境生命科学研究科	
インドネシア	スマトラウタラ大学大学院天然資源環境管理研究科、バンドゥン工科大学土木環境工学部
タイ	プラバー大学理学部
大韓民国	韓国産業技術大学知識技術・エネルギー研究科、檀国大学校工科大学
中華人民共和国	河北農業大学林学院、華中農業大学経済管理・土地管理学院
バングラデシュ	バツアカリ科学技術大学畜産獣医学部
ベトナム	フエ農林大学、ハノイ土木大・環境理工学研究所、ホーチミン市経済大学経済学部、タナン工科大学、ドンナイ省科学技術局
アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センター
カナダ	プリテッシュコロンビア大学森林学部
イタリア	テラモ大学獣医学部
フィンランド	ユバスキュラ大学情報工学部
ポーランド	グダニスク工科大学土木環境工学部
医歯薬学総合研究科	
インドネシア	ウダヤナ大学医学部
タイ	コンケン大学医学部
大韓民国	東国大学校慶州キャンパスバイオ融合研究院、建国大学KUオープンイノベーションセンターBK21プラスプログラム
アメリカ合衆国	ミシガン大学医学部
イタリア	ラクイラ大学医学部
フランス	パリ神経科学大学院
文学部	
中華人民共和国	山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院
ドイツ	ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学
ロシア	国立アカデミー人文大学
教育学部	
オーストラリア	キャンベラ大学
法学部	
台湾	国立中正大学社会科学学院・法学院※2
中華人民共和国	北京大学法学院

国・地域名	大学等名
経済学部	
中華人民共和国	中央財経大学経済学院
ルーマニア	ブカレスト大学行政・経営管理学部
理学部	
インド	ハイデラバード大学生命科学学部
大韓民国	東義大学校自然科学大学
中華人民共和国	北京大学化学及び分子工程学院
アメリカ合衆国	ノートルダム大学理学部
ドイツ	コンスタンツ大学化学部
ポーランド	クラコフ工科大学
ロシア	カザン州立大学生物学部
医学部	
大韓民国	慶尚大学校医科大学
中華人民共和国	中国医学科学院北京協和医学院、南昌大学医学院
ハンガリー	デブレツェン大学医学部
歯学部	
インド	ニッテ大学歯学部 (ABSM 歯学研究所)
台湾	台北医学大学口腔医学院
大韓民国	ソウル大学歯学部
中華人民共和国	南昌大学医学院、北京大学口腔医学院、大連医科大学口腔医学院、香港大学歯学部
モンゴル	モンゴル医科大学歯学部
フィリピン	サウスウェスタン大学歯学部
ベトナム	ハノイ医科大学歯学部
ミャンマー	ヤンゴン歯科医学大学、マンダレー歯科医学大学
オーストラリア	チャールズ・スタート大学
ニュージーランド	オタゴ大学歯学部
ブラジル	サンパウロ大学歯学部、サンパウロ大学リベイランプレット歯学部
チリ	フィニステラエ大学歯学部
アメリカ合衆国	ワシントン大学歯学部、オハイオ州立大学歯学部
カナダ	サスカチュワン大学歯学部、プリティッシュコロンビア大学歯学部
英国	グラスゴー大学歯学部
ギリシャ	テッサロニキアリストテレス大学歯学部
薬学部	
台湾	台北医学大学薬学部
大韓民国	梨花女子大学校薬学大学
工学部	
大韓民国	済州大学校工科大学、忠北国立大学電子・計算機工学部
中華人民共和国	上海交通大学機械・動力工程学院、四川大學化学学院、同濟大学機械工学部
バングラデシュ	クルナ大学科学工学技術学校
アメリカ合衆国	ミズーリ大学ローラ校工学部
イタリア	ローマ第3大学工学部
フィンランド	タンペレ工科大学、フィンランド工業技術研究所
ポルトガル	ポルト大学工学部
ルーマニア	ペトルポニ高分子化学研究所
環境理工学部	
台湾	国立東華大学管理学院
カナダ	サスカチュワン大学工学部
農学部	
インドネシア	サム・ラチュランギ大学、ウダヤナ大学畜産学部、スリビジャヤ大学農学部
中華人民共和国	浙江大学農業生物技術学院、大連大学生物工程学院
資源植物科学研究科	
ロシア	ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所、カザン大学基礎医学生物学研究所
惑星物質研究所	
アメリカ合衆国	リーハイ大学地球環境科学科
岡山大学病院	
台湾	台中榮民総合病院
ベトナム	循環器センターE病院
ミャンマー	ビクトリア病院
グローバル・パートナーズ	
中華人民共和国	青島科技大学国際交流与合作処、大連海事大学外国語学院、江蘇理工學院外国語学部
オランダ	ライデン大学人文学部

注：※2印は、4部局間協定であることを示す。

国籍・地域別・在籍身分別

平成29年5月1日現在

区分	大学院生		学部学生	研究生・その他	計		
	博士課程	修士課程					
アジア	中国	87	125	29	119	360	
	韓国	2	5	27	7	41	
	ベトナム	35	9	1	3	48	
	マレーシア	7		15		22	
	インドネシア	15	4			19	
	バングラデシュ	18	3			21	
	タイ	2	1		1	4	
	ミャンマー	25	2		3	30	
	インド	9				9	
	台湾	1	2		9	12	
	モンゴル		1			1	
	フィリピン				1	1	
	パキスタン	2				2	
	カンボジア	1	1			2	
	ネパール		1			1	
	ラオス人民民主共和国				1	1	
	小計	204	154	72	144	574	
	中東	トルコ	3			1	4
		イラン	1	1			2
サウジアラビア				1		1	
ヨルダン		1				1	
小計		5	1	1	1	8	
アフリカ	エジプト・アラブ共和国	3			1	4	
	ケニア共和国	6	1			7	
	エチオピア	2				2	
	ガーナ	1				1	
	アルジェリア民主人民共和国	1				1	
	ウガンダ共和国		1			1	
	タンザニア共和国	1				1	
	小計	14	2		1	17	

区分	大学院生		学部学生	研究生・その他	計	
	博士課程	修士課程				
オセアニア	オーストラリア			2	2	
	バプアニューギニア		1		1	
	トンガ	1			1	
	小計	1	1	2	4	
北米	アメリカ合衆国			19	19	
	カナダ			4	4	
	小計			23	23	
中南米	アルゼンチン	1			1	
	ブラジル	1		2	3	
	コロンビア			1	1	
	小計	2		3	5	
ヨーロッパ (NIS諸国を含む)	フランス	1	1		16	18
	ドイツ	1			9	10
	スペイン			1		1
	セルビア				1	1
	イギリス				12	12
	イタリア				5	5
	ロシア				2	2
	アイルランド				1	1
	ウズベキスタン	1				1
	ポルトガル				1	1
	リトアニア				1	1
	ルーマニア	1				1
	小計	4	1	1	48	54
合計	230	159	74	222	685	

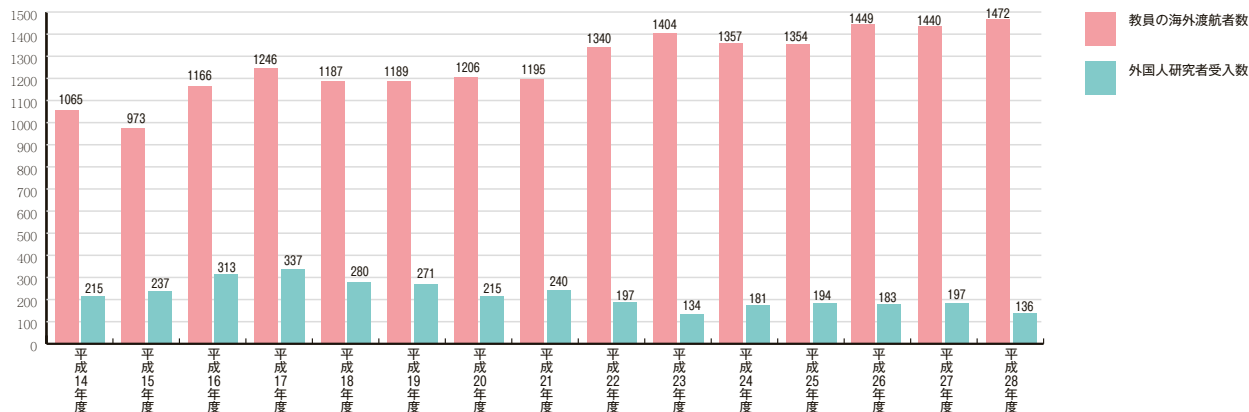
経費別・在籍身分別

平成29年5月1日現在

経費区分	在籍区分	大学院生		学部学生	研究生・その他	計
		博士課程	修士課程			
国費	大使館推薦	19	4		2	25
	大学推薦	72	6		3	81
	国内採用	3				3
	日韓共同理工系学部留学生(日本政府)			11		11
	小計	94	10	11	5	120
私費	マレーシア政府			13		13
	サウジアラビア政府			1		1
	日韓共同理工系学部留学生(韓国政府)			8		8
	自費	136	149	41	217	543
	小計	136	149	63	217	565
合計		230	159	74	222	685

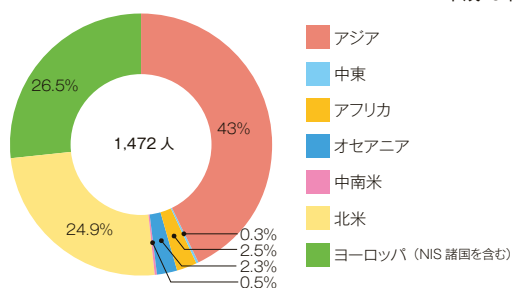
教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入状況

教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数の推移



地域別教員の海外渡航者数

平成28年度

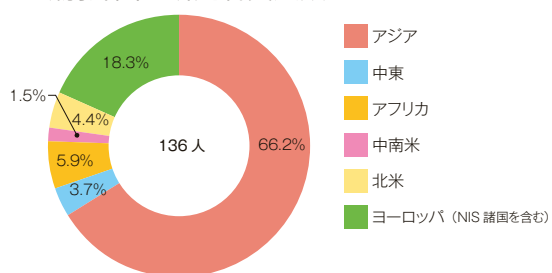


地域・国別教員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数

平成28年度

区分	渡航数 (人)	受入数 (人)
アジア		
中国	184	27
韓国	134	3
台湾	62	4
ベトナム	68	5
ミャンマー	40	15
タイ	31	2
その他	114	34
計	633	90
中東	5	5
計	5	5
アフリカ	37	8
計	37	8
オセアニア		
オーストラリア	27	
その他	7	
計	34	
中南米	8	2
計	8	2
北米		
アメリカ	328	5
カナダ	39	1
計	367	6
ヨーロッパ 【EU加盟国】 (NIS 諸国を含む)		
ドイツ	67	2
フランス	48	8
英国	36	1
スペイン	13	1
イタリア	46	1
オランダ	21	
その他	134	12
【その他のヨーロッパ】		
スイス	16	
ロシア	4	
その他	3	
計	388	25
合計	1,472	136

地域別外国人研究者受入数



財 政

決算／予算

平成28事業年度決算

貸借対照表

平成29年3月31日
(単位：百万円)

科 目	金額
資産の部	
I. 固定資産	
1. 有形固定資産	120,419
2. 無形固定資産	582
3. 投資その他の資産	1,642
固定資産合計	122,644
II. 流動資産	
現金及び預金	9,554
未収収入	6,099
その他の流動資産	687
流動資産合計	16,342
資 産 合 計	138,987

科 目	金額
負債の部	
I. 固定負債	41,640
II. 流動負債	15,561
負債合計	57,202
純資産の部	
I. 資本金	69,804
II. 資本剰余金	5,634
III. 利益剰余金	6,346
純資産合計	81,785
負債純資産合計	138,987

損益計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位：百万円)

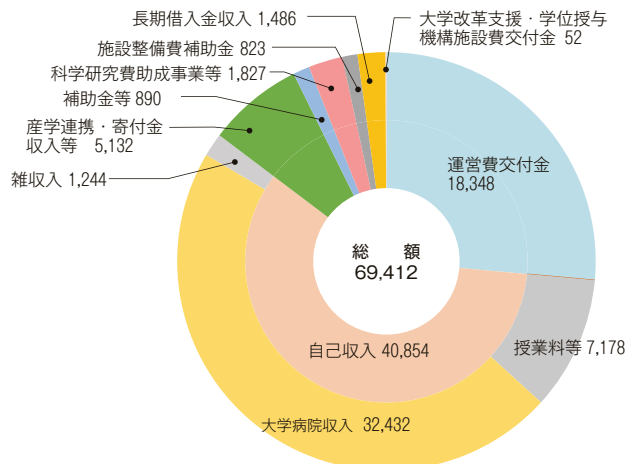
科 目	金額
経常費用	66,930
業務費	65,218
一般管理費	1,392
その他の費用	318
経常収益	67,671
運営費交付金収益	17,863
学生納付金収益	7,964
附属病院収益	32,405
その他の収益	9,437
経常利益	741
臨時損失	120
臨時利益	32
当期純利益	653
前中期目標期間繰越積立金取崩額	368
当期総利益	1,022

※金額の単位は、百万円未満を切り捨てて記載しています。
※文部科学大臣の承認を受けるまでは、金額等の変更が生じることがあります。

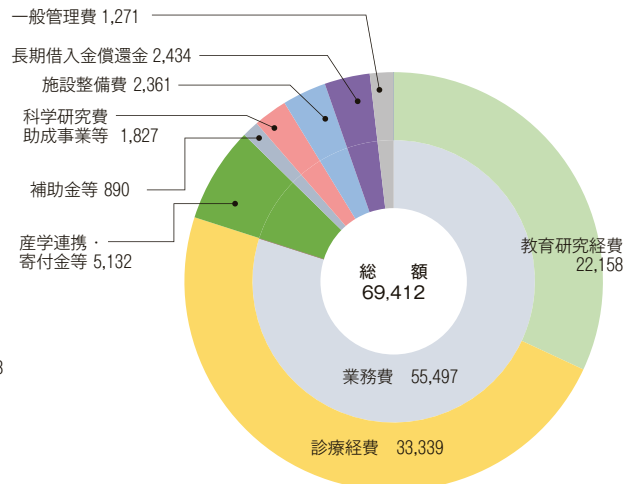
平成29年度予算

(単位：百万円)

収 入



支 出



科学研究費助成事業

【平成29年度採択状況】

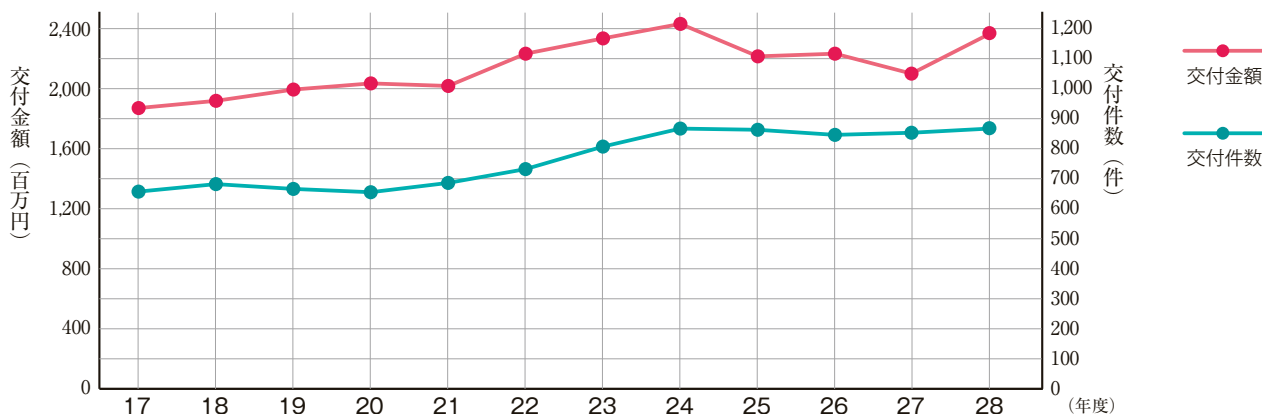
平成29年5月31日現在

研究種目	採択件数	配分額 (単位：千円)
特別推進研究	1	142,610
基盤研究 (S)	2	76,700
基盤研究 (A)	15	210,990
基盤研究 (B)	102	456,170
基盤研究 (C)	434	609,050
挑戦的萌芽研究	57	65,520
若手研究 (A)	9	62,400
若手研究 (B)	181	260,000
研究活動スタート支援	9	12,350
特別研究員奨励費	27	28,700
新学術領域研究 (研究領域提案型)	23	232,245
計	860	2,156,735

注：配分額には間接経費として措置された金額を含む。

【配分額及び採択件数の推移】

年度	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)
交付金額 (単位：千円)	1,870,749	1,918,950	1,994,000	2,034,989	2,018,005	2,232,960	2,334,819	2,431,524	2,215,276	2,228,337	2,131,650	2,392,540
交付件数	657	682	666	655	686	732	807	867	863	832	865	875



外部資金受入状況

平成28年度

区分	件数	受入額 (単位：千円)
民間等との共同研究	309	494,256
受託研究	266	1,697,528
寄付金	2,483	1,473,627

共同研究講座

平成29年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学 総合研究科	クリニカルバイオバンクネット ワーキング事業化研究講座	平成27年7月1日～ 平成31年6月30日	バイオバンク運用の効率化と品質担保及びバイオバンク事業化のための研究を行い、バイオバンクの自立化 (事業化) のためのグラントデザインを構築する。

寄付講座

平成29年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	運動器医療材料開発講座	平成19年4月1日～平成30年3月31日	運動器医療材料の開発や研究を行い、運動器医療の発展に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	先端循環器治療学講座	平成22年4月1日～平成31年3月31日	高度最先端循環器内科治療を地域のために普及させるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療人材育成講座	平成22年5月1日～平成30年3月31日	将来の岡山県の地域医療を担う人材育成に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及を行い、県民の健康・福祉の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器知能化システム開発(ナカシマメディカル)講座	平成22年9月1日～平成30年3月31日	インプラントデバイスの高機能化およびコンピューターテクノロジーを応用した手術支援システムによる運動器の再構築を目指し、その基礎研究結果を早期に臨床応用するため
大学院医歯薬学総合研究科	CKD・CVD地域連携包括医療学講座	平成23年11月1日～平成31年10月31日	CVD(心血管疾患)の専門家である循環器内科との密接な協力によりCKD(慢性腎臓病)診療の発展と末期腎不全患者数増加の抑制、心血管疾患合併の予防に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	小児急性疾患学講座	平成25年4月1日～平成30年3月31日	福山・府中圏域における小児救急医療に関わる医師の育成及び効果的な医療提供体制に関する研究を行い、将来に亘り持続可能な小児救急医療体制を構築するため
大学院医歯薬学総合研究科	高齢社会医療・介護機器研究推進講座	平成25年7月1日～平成29年6月30日	在宅医療・遠隔医療を可能とする機器及び医療システムの研究開発、並びに高齢化対策医療教育を通じて、地域医療や高齢社会医療に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	救急外傷治療学講座	平成26年11月1日～平成30年10月31日	外傷診療や災害時の外傷の諸課題に対応するために外傷診療システムの構築と外傷診療に精通した人材の教育・養成を行い、最適な外傷の救急医療体制の構築に貢献するため
大学院教育学研究科	国吉康雄を中心とした美術鑑賞教育研究講座	平成27年10月1日～平成30年3月31日	地域の芸術・文化資源を活かした美術鑑賞手法の開発と実践教育、国吉康雄の作品及び画業と生き方の研究と顕彰、地域コミュニティと地域文化の発展に寄与する人材の育成のため
大学院医歯薬学総合研究科	医療資源開発・学習支援環境デザイン学講座	平成27年11月1日～平成30年10月31日	医療における教育現場と医療現場及び医療人材とその他の医療資源を革新的な学習法の研究・開発によってシームレスに繋ぐことで、より安心・安全な医療の提供を広く可能にするため
大学院医歯薬学総合研究科	陽子線治療学講座	平成27年12月1日～平成30年11月30日	陽子線治療の管理手法や治療成績を明らかにして癌治療成績の向上に寄与していくとともに、陽子線治療の認知・普及、人材育成、研究を進展させるため
大学院医歯薬学総合研究科	三朝地域医療支援寄付講座	平成28年1月1日～平成30年12月31日	三朝地域の医療機関における医療の質を維持・向上させ、最適な地域医療提供体制の整備・確立に寄与するとともに、地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムを開発するため
大学院医歯薬学総合研究科	血液浄化療法人材育成システム開発学講座	平成28年1月1日～平成30年12月31日	腎不全に対する治療法、特に血液透析を主体とする血液浄化療法に関する人材育成システムの開発について教育・研究を推進するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器外傷学講座	平成28年4月1日～平成32年3月31日	骨折疾患に対する多角的な現状調査、実際の治療を通じて新規治療法の研究開発、骨折に対する若手医師や指導医などへの教育を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	地域救急・災害医療学講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	地域医療、救急医療、災害医療を総括して研究するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	医療過疎対策地域医療学分野の研究をより一層発展させ、地域社会へ貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南西部(笠岡)総合診療医学講座	平成29年4月1日～平成34年3月31日	総合医療など地域医療を担う医師等の養成及び現地ニーズに即した島しょ部医療に関する教育・研究を行い、地域医療の向上に寄与するため

土地・建物

平成29年5月1日現在

区分	土地(m ²)	建物		所在地
		建面積(m ²)	延面積(m ²)	
■津島地区	639,621			
大学本部		22,324	50,508	岡山市北区津島中一丁目1-1
情報統括センター		993	2,355	〃 三丁目1-1
グローバル・パートナーズ		3,674	10,011	〃 二丁目1-1
附属図書館		4,049	16,386	〃 三丁目1-1
文学部・法学部・経済学部		5,823	19,399	〃 〃
教育学部		7,471	21,194	〃 〃
理学部		5,738	17,901	〃 〃
薬学部		3,166	9,227	〃 一丁目1-1

区分	土地(m ²)	建物		所在地
		建面積(m ²)	延面積(m ²)	
工学部		11,719	32,351	岡山市北区津島中三丁目1-1
環境理工学部		1,506	11,200	〃 〃
農学部		6,472	15,775	岡山市北区津島中一丁目1-1
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター 岡山農場		3,623	4,298	〃 津島桑の木町1-62
埋蔵文化財調査研究センター		315	484	〃 津島中三丁目1-1
大学院自然科学研究科		2,044	13,021	〃 〃
研究推進産学官連携機構		941	2,430	〃 〃
自然生命科学研究支援センター		1,876	4,751	岡山市北区津島中
保健管理センター		469	668	〃 二丁目1-1
環境管理センター		675	657	〃 三丁目1-1
■鹿田地区	135,328			
医学部、歯学部		19,893	80,067	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
岡山大学病院		20,375	117,069	〃 〃
自然生命科学研究支援センター		1,997	8,098	〃 〃
保育所		420	420	〃 〃
■東山地区	53,428			
教師教育開発センター・ 教育学部附属幼稚園・小・中学校		8,898	15,045	岡山市中区東山二丁目13-80
■平井地区	13,188			
教育学部附属特別支援学校		3,261	4,553	岡山市中区平井三丁目914
■八浜地区	89,536			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター八浜農場		655	655	玉野市東七区
■津高地区	312,484			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター津高牧場		1,721	2,278	岡山市北区日応寺
■倉敷地区	38,536			
資源植物科学研究所		5,701	10,955	倉敷市中央二丁目20-1
■三朝地区	37,675			
惑星物質研究所		4,932	11,939	鳥取県東伯郡三朝町山田827
三朝ラドン熱気浴施設		182	323	鳥取県東伯郡三朝町三朝939
■牛窓地区	6,956			
理学部附属臨海実験所		1,271	1,504	瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17
課外活動研修所		255	252	〃 〃
■芳賀地区	※(5,787)			
産学官融合センター		572	1,138	岡山市北区芳賀5302
■その他の地区				
半田山自然教育研究林	675,813			岡山市北区津島
吉備文化共同利用施設	2,104	344	344	岡山市北区吉備津1666
本島地区	22,764	433	537	香川県丸亀市本島町泊494
その他	4,653	366	603	
宿舎	32,467	7,396	31,872	
合計	2,064,553	161,550	520,268	

※() 無償借上

諸施設

大学会館

施設名	収容人数	面積	所在地
正課外活動施設	532 ^人	1,005 ^{m²}	岡山市北区津島中二丁目1-1
福利厚生施設	110	190	
管理施設		1,981	
合計	642	3,176	



交流広場

外国人留学生・研究員宿泊施設

施設名		収容人数	面積	所在地	
国際学生シェアハウス	単身者用（混住型）	120 ^人	2,310 ^{m²}	岡山市北区津島桑の木町6-2	
	※日本人1人、外国人留学生3人の計4人が1ユニットで計30ユニット（男女別）				
国際交流会館	留学生宿舍	18	2,167	岡山市北区津島中三丁目1-1	
	研究者宿舍	夫婦用			28
		長期単身者用			3
		短期単身者用			30
桑の木留学生宿舍	北棟	51 ※うち1室は バリアフリー室	1,455	岡山市北区津島桑の木町6-1	
	南棟	100	3,324		
福居留学生宿舍	単身者用	21	825	岡山市北区津島福居二丁目10-4	

本学には、国際学生シェアハウス・国際交流会館・桑の木留学生宿舍・福居留学生宿舍の4つの外国人留学生・研究員宿泊施設がある。これらは、本学の外国人留学生及び本学で研究に従事する外国人研究者に居住の場を提供し、併せて国際交流の促進に資することを目的として設置されている。

国際学生シェアハウスは、外国人留学生と日本人学生に居住の場を提供するとともに、日常生活を通じて異国の言語や文化、生活習慣に接することで国際感覚を身につけたグローバル人材の育成を目的として、平成28年3月に新しく整備された。各個人の私室を確保しつつ、4人が1つのユニットとして共同生活を送る形態となっており、入寮者同士が自然と交流できる仕様になっている。

いずれの宿泊施設も、大学の中心である津島地区に近く、便利な地に位置しており、居住している留学生や研究員は快適な住環境のもと、充実した勉学・研究生活を送っている。



国際学生シェアハウス

学生寮

施設名	収容人数	面積	所在地
女子学生寮	108 ^人	2,024 ^{m²}	岡山市北区津島桑の木町6-2

創立五十周年記念館

施設名	収容人数	面積	所在地
金光ホール	406 ^人	593 ^{m²}	岡山市北区津島中一丁目1-1
大会議室	60	96	
中会議室	36	76	
小会議室	24	46	

Junko Fukutake Hall

施設名	収容人数	面積	所在地
レクチャーホール	354人	561.89㎡	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
会議スペース	30	53.5	



Junko Fukutake Hall

Junko Fukutake Terrace

施設名	席数	面積	所在地
Jテラスカフェ	40席	149.17㎡	岡山市北区津島中一丁目1-1



Junko Fukutake Terrace

城下ステーション

学外の活動拠点として、平成24年6月に開設。市内中心部のカルチャーゾーンであり、まちづくりNPO団体とも密な連携が可能である岡山市北区石関町に位置している。

本施設は、地域総合研究センターが主体で企画する「まちなかキャンパス」のみならず、市民を交えた各種交流会、授業、ゼミ、サークル活動、留学生のまちづくり活動などで活用され、市民との対話を重ねながら大学と地域をつなぐ拠点として重要な役割を担っている。

【所在地】岡山市北区石関町2-1 総合福祉会館1階

【利用時間】平日 9:00~18:00

西川アゴラ

平成26年8月に、西川緑道公園に面したオフィスビルの2階に開設。同年10月には岡山市との「まちづくり協定」を締結し、本施設を拠点に本学の研究・教育力を戦略的まちづくりに活用している。この付近は中心市街地のまちづくりの核として位置づけられ、市民参加型まちづくりの研究、回遊性調査、勉強会等が行われており、それらの成果を学生や行政、市民と共有する場としても用いられている。

【所在地】岡山市北区田町一丁目8-30 伊達ビル2階

【利用時間】平日 9:00~18:00

地域医療人育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)

「学ぶ・集う・繋がる」というコンセプトのもと、岡山県下の医療系学生および医療者全体のレベル向上と地域医療への理解と関心を高めることを目的として、平成24年9月に鹿田キャンパス内に開所された。様々な地域医療の現場で今求められている『総合診療』の知識と技術を持つ医師を育成するためのシミュレーション教育プログラムの開発・実践・研究を行うと同時に、広く一般向けのセミナーや講演会を実施し、地域医療教育ならびに情報発信の拠点としての役割を担っている。

岡山大学東京オフィス

東京駅八重洲南口から徒歩5分の場所にあり、オフィスには教職員が駐在している。オフィスの役割は首都圏での学生の就職活動、卒業生のフォローアップ活動、同窓会活動、研究活動、産学官連携の支援と広報活動である。

【所在地】〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目5-5 京橋共同ビル1階

【利用時間】平日 9:30~18:15

(常駐職員の出張・外出などで利用できない場合あり)



福利施設

津島キャンパス内に3つの福利施設がある。

南福利施設（ピーチユニオン）は、1階にコンビニエンスショップ、トラベルサービスセンター、理容室、2・3階にカフェテリア食堂（2階227席・3階278席）、4階にレストラン（121席）がある。北福利施設（マスカットユニオン）は、1階にブックストア、2・3階にカフェテリア食堂（2階244席・3階264席）がある。東福利施設（ピオーネユニオン）は、1階にコンビニエンスショップ、2階にカフェテリア食堂（328席）がある。

社会連携

岡山大学公開講座 社会に対してより高い教養を提供し、地域の文化の向上等に資することを目的として、公開講座を開設している。

区分	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
人 文 科 学	文学部の知の最前線	11月11日～11月25日	高校生・大学生および一般の方	80人
	みんなの金融リテラシー入門	12月23日	高校生・大学生および一般の方	40人
	企業法の史的展開	7月1日～7月8日	高校生・大学生および一般の方	80人
	税と教育から見る経済社会	6月3日	高校生・大学生および一般の方	80人
	閑谷学校350年の歴史と変遷	8月25日	高校生・大学生および一般の方	100人
自 然 科 学	ごみでストップ！地球温暖化～3Rで二酸化炭素を減らそうや～	6月10日	高校生・大学生および一般の方	20人
	植物は凄いぜ!? 脳はないけど能がある	9月16日	中学生以上、一般の方	80人
	自動車と機械	8月26日	中学生・高校生・大学生、および一般の方	30人
	身近に広がる数学Ⅱ	7月29日～7月30日	高校生・大学生および一般の方	60人
	樹脂封入標本を作ってみよう～手に取って観察できる標本の形	8月19日	小学生以上の方（小学生の方は保護者の付添が必要）	30人
	岡山大学先端研究講座 ネオウイルス学：ウイルスと生きる	6月17日	高校生・大学生および一般の方	50人
岡山大学先端研究講座 植物が太陽光エネルギーを利用する巧妙な方法	9月30日	高校生・大学生および一般の方	50人	
生 命 科 学	現代の薬学（第29回）	7月2日	大学生及び一般の方、薬剤師	50人
	生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー大阪	7月～8月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査技師、医師、看護師、カウンセラー等）生命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味がある、大学生・大学院生等	30人
	生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー東京	9月～12月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査技師、医師、看護師、カウンセラー等）生命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味がある、大学生・大学院生等	30人
	生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー岡山	1月～3月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査技師、医師、看護師、カウンセラー等）生命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味がある、大学生・大学院生等	20人
	生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー福岡	1月～3月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査技師、医師、看護師、カウンセラー等）生命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味がある、大学生・大学院生等	30人
	生殖補助医療技術者のためのリカレントセミナー名古屋	1月～3月（予定）	生殖補助医療従事者（胚培養士、臨床検査技師、医師、看護師、カウンセラー等）生命科学を専攻し生殖補助医療技術に興味がある、大学生・大学院生等	30人
	岡山健康講座2017ーやさしい保健と健康の話ー	8月17日～9月14日	一般の方	100人
	「入れ歯マイスター」養成講座	6月6日～10月3日	ご自身の入れ歯の知識を深めたい方、友人や近所の方に入れ歯のアドバイスをしてあげようと思われる方、保健・医療・福祉に携わっていて入れ歯の知識を持ちたい方	30人
	摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会 初級コース	4月19日～7月19日	一般の方（岡山県民）	200人
	岡山大学摂食・嚥下障害研究会 ～食支援ネットワーク～	5月11日～3月8日	一般の方（岡山県民）	100人
ジュニア向け	ジュニア体操教室（初級）	8月21日～8月25日	小学3年生から6年生	30人
芸 術	彫刻入門ー塑像による頭像制作5ー	5月9日～6月27日	彫刻制作に興味関心のある方	8人
木 工	木工講座(折りたたみガーデン・テーブル)	9月2日～9月30日	一般の方（高校生以上）	8人
園 芸	育てて食べようおいしい夏野菜ー家庭菜園のツボ2017ー	4月12日～9月6日	家庭菜園に興味のある一般の方	35人

区分	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
スキルアップ	10代からはじめるキャリア・デザイン入門 —著名人から学ぶ人生(逆境)の切り開き方—	11月19日	中学生・高校生・大学生の方	20人
	パソコンでゲームを作ろう	8月21日～8月22日	小学生、中学生 および社会人(個人、親子(保護者)、一般の参加)	50人
	幅広く情報セキュリティ技術を学ぶ	8月28日～8月29日	小学生高学年以上の一般の方	100人
スポーツ	スポーツ講座	6月21日～1月24日	高校生・大学生および一般	100人

岡大サイエンスカフェ 本学の研究者が学術研究成果を分かりやすく説明する場として開設している。

	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
第60回	「歯を失った際に現状で出来ることと将来展望 —口腔インプラントと再生医療—	4月17日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	100人
第61回	「腸内フローラに操られるヒトの健康と疾病」	6月13日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	100人
第62回	「昆虫の行動：基礎と応用と楽習と」	8月7日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	100人
第63回	「暮らしをささえる高分子材料 —レジ袋から人工網膜まで—(仮題)」	10月31日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	100人
第64回	「邪馬台国女王と女性首長」	12月18日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	100人
第65回	「現代社会における地域語のあり方 —地域方言の衰退と変容—	2月1日	社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方	100人

地域連携事業 地域の教育機関等と連携して講座を開設している。

	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
	教育連携協議会教育連携事業高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業の聴講	4月～8月、10月～2月	岡山県内の高校生	各科目の定員数
	教育連携協議会教育連携事業高校生のための大学講座	8月9日～10日	岡山県内の高校生	各科目100人程度
	大学コンソーシアム岡山「吉備創生カレッジ」	4月～9月、10月～3月	一般の方	各科目の定員数

関連組織

国立六大学連携コンソーシアム連携機能強化推進本部

六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)では、各大学の特色を生かした連携を通じて教育・学術研究を機能強化するため、国立六大学連携コンソーシアムを組織し教育プログラムの共同構築などを推進している。当本部は当該コンソーシアム協議会の運営、連携事業等の企画・立案・実施に関わる六大学間の連絡調整等を支援するため、平成27年4月、東京都港区芝浦の東京工業大学キャンパス・イノベーションセンターに設置された。推進本部長、幹事校を中心に六大学から派遣された事務職員が業務に従事している。

岡山大学出版会

本学教員の教育・研究成果の発表を支援し、もって学術・教育・文化の振興発展に寄与することを目的として平成19年4月に設立された。学術書のみならず、岡山大学版教科書も出版している。これにより、教育・研究成果をこれまで以上に広く発信することが可能になった。

岡山大学 Alumni (全学同窓会)

岡山大学 Alumni (全学同窓会) は、従来の同窓生を中心とした同窓会とは異なり、岡山大学の知的な営みに関わったすべての方々、すなわち、同窓生のみならず、在学生や教職員、教職員OB、留学生、研究生等、岡山大学に関わったすべての方々を会員として、“オール岡大”で岡山大学の発展を支援するとともに、会員の皆様の発展を目指すネットワーク組織として平成25年10月に設立された。

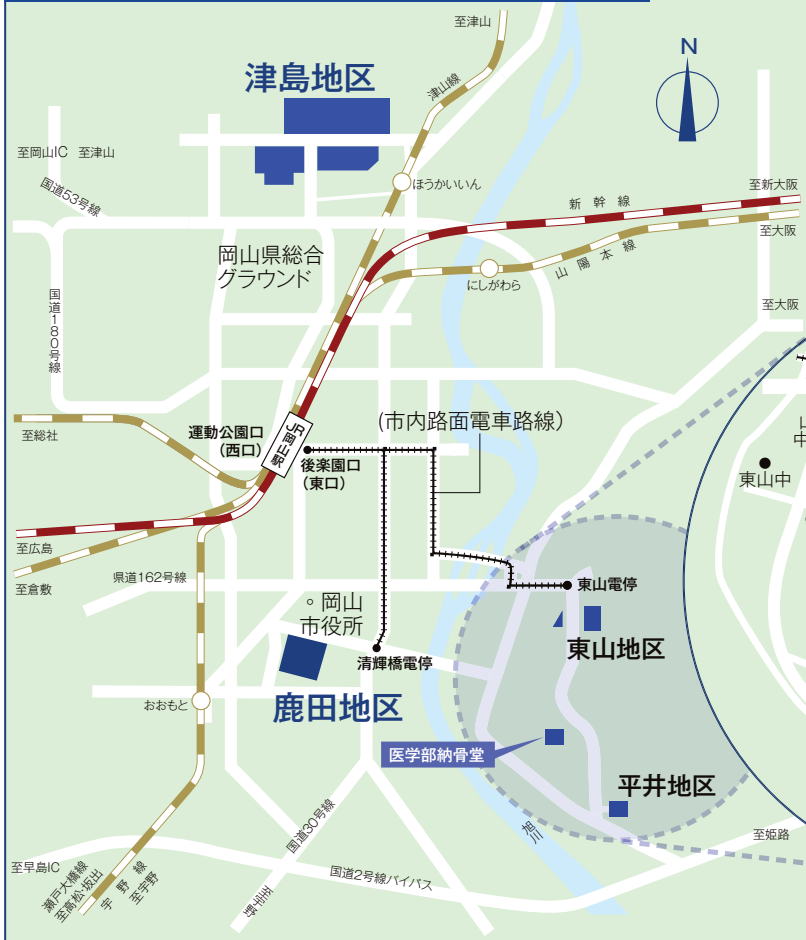
アクセス



広域図



津島地区 / 鹿田地区



東山地区

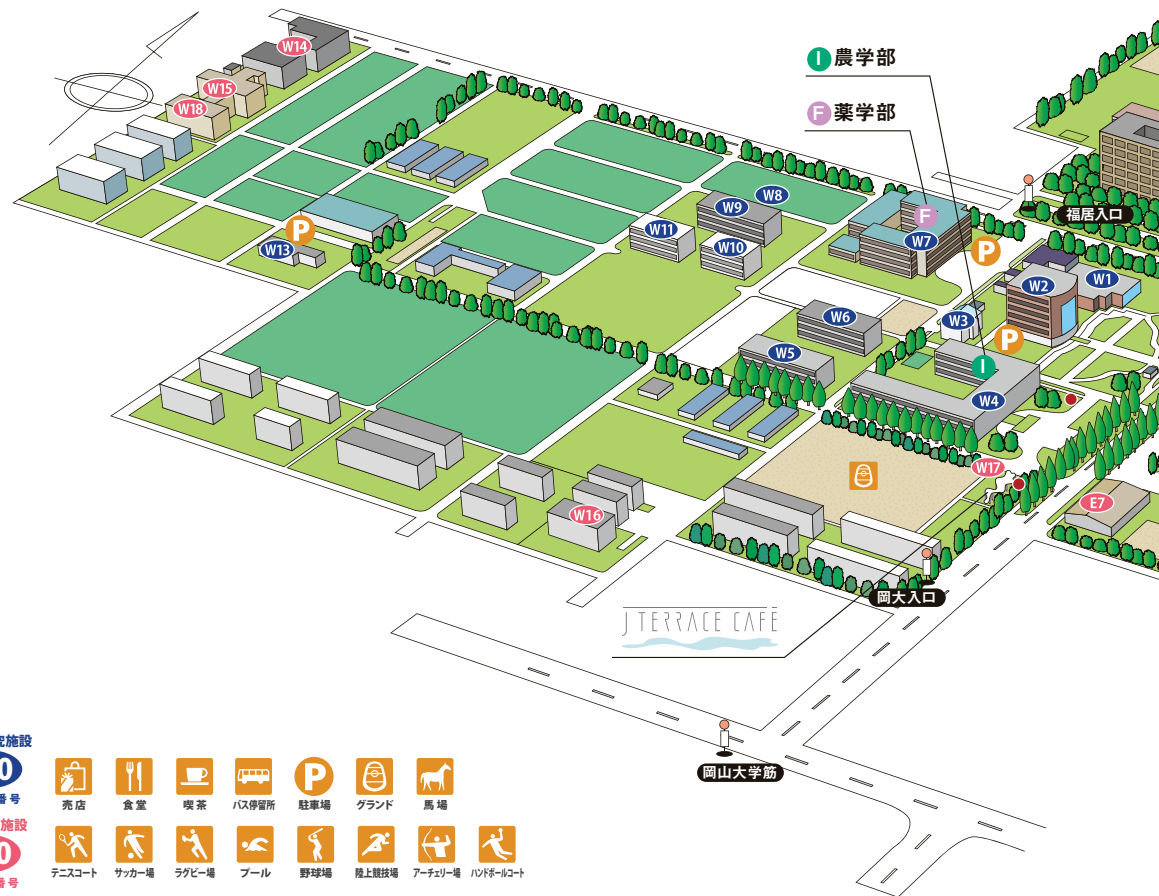


平井地区

キャンパスマップ

津島キャンパス

- A 文学部 B 教育学部 C 法学部 D 経済学部 E 理学部
F 薬学部 G 工学部 H 環境理工学部 I 農学部



津島地区北キャンパス

N1	文化科学系総合研究棟
	法務研究科
	弁護士研修センター
N2	文法経2号館
	法学部
N3	経済学部
	文法経1号館
	文学部
	社会文化科学研究科
N4	東アジア国際協力・教育研究センター
	文法経講義棟
N5	文学部考古学資料室
N10	中央図書館
N11	北福利施設(マスカットユニオン)
N12	情報統括センター
N13	埋蔵文化財調査研究センター
N14	国際交流会館
N15	福居留学生宿舎
N20	理学部本館
	理学部
	マッチングプログラムコース
	自然科学研究科
	異分野基礎科学研究所

N21	理学部2号館
	界面科学研究施設
N22	コラボレーション・センター
	自然生命科学研究支援センター 分析計測・極低温部門
N23	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門津島施設
N24	自然科学研究科棟
	次世代人材育成センター
N30~N43 N45~N49	工学部1号館~14号館・16号館~20号館 工学部 自然科学研究科
N44	旧工学部15号館
	地域総合研究センター 工学部講義室
N50	旧工学部21号館
	ダイバーシティ推進本部 自然生命科学研究支援センター 動物資源部門津島北施設
N51	環境管理センター
N52	自然科学系総合研究棟
	低炭素・廃棄物循環研究センター 防災安全・安心センター

N53	環境理工学部棟
	環境理工学部 環境生命科学研究科
N54	新技術研究センター
N55	東福利施設(ピオーネユニオン)
N61	教育学部本館
	教育学部
	教育学研究科 教師教育開発センター
N62	教育学部講義棟
N63	教育学部棟
N64	教育学部体育棟
N65・N66	教育学部音楽棟
N67	弓道場
N68	馬房



津島地区西キャンパス

W1	創立五十周年記念館 本部長
W2	法人監査室、監事支援室 大学本部 評価センター 安全衛生推進機構
W3	旧事務局庁舎 研究推進産学官連携機構
W4~W6	農学部Ⅰ号館~Ⅲ号館 農学部 環境生命科学研究科 生殖補助医療技術教育研究センター

W7	薬学部1号館・2号館 薬学部 医歯薬学総合研究科
W8	薬用植物園
W9	岡山大インキュベータ (中小企業基盤整備機構)
W10	自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門
W11	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門津島南施設
W13	農学部Ⅳ号館 山陽圏フィールド科学センター

W14	桑の木留学生宿舎
W15	女子学生寮
W16	津島宿泊所
W17	Junko Fukutake Terrace
W18	国際学生シェアハウス

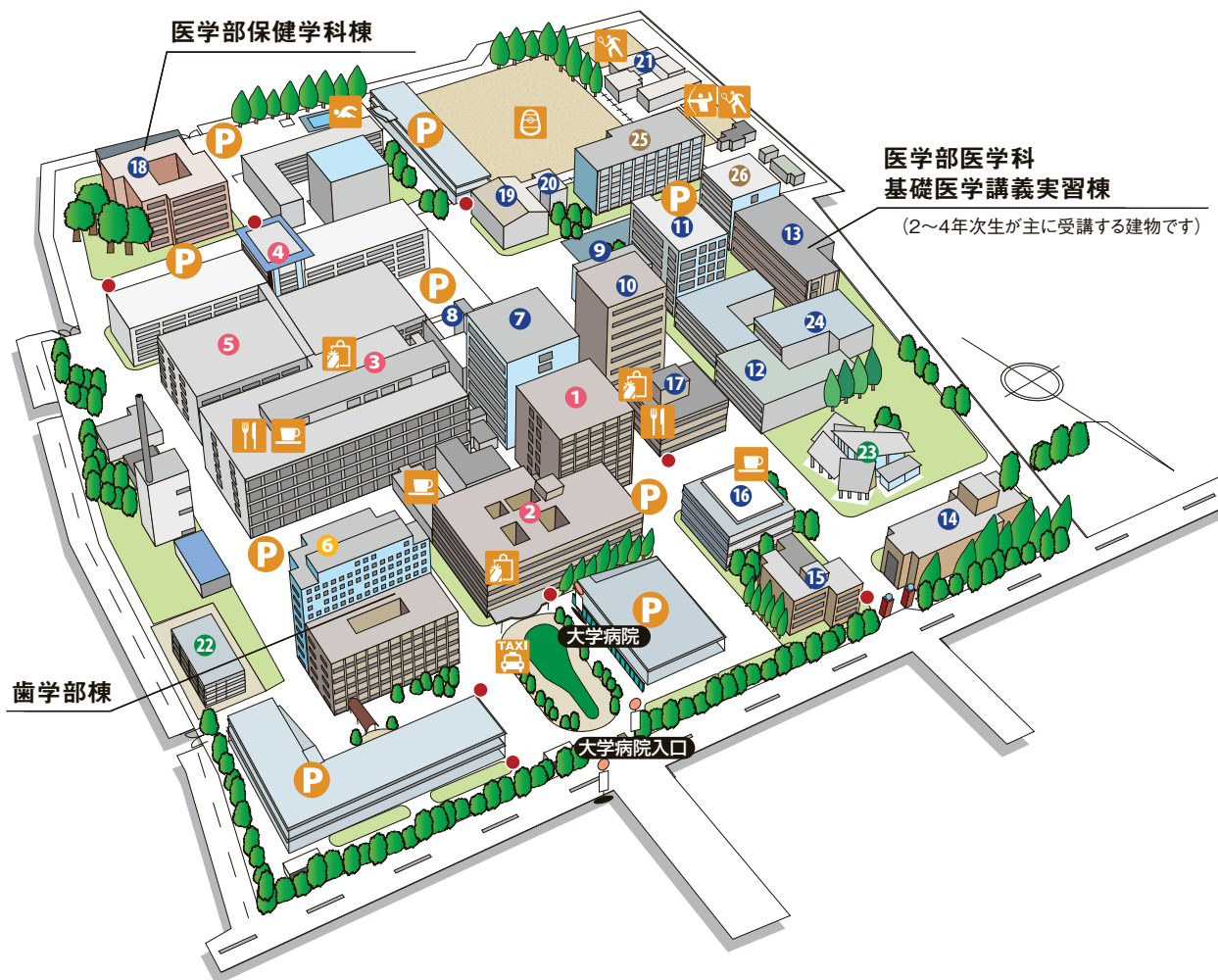
津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設(ピーチユニオン) 大会館
E2	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センターキャリア・学生支援室 アドミッションセンター
E3	保健管理センター 一般教育棟
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進室 教育開発センター 基幹教育センター

E4	学生総合支援センター学生相談室 学務部 グローバル・パートナーズ グローバル人材育成院
E5	一般教育棟 全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター障がい学生支援室 学生総合支援センタースポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム設置準備室

E6	清水記念体育館
E7	第二体育館
E8	第一武道館
E9	第二武道館
E10	体育管理施設
E11	校友会文化系クラブ棟
E12	校友会体育系クラブ棟
E13	校友会トレーニング棟
E14	合宿所

鹿田キャンパス



鹿田地区

1	管理棟
2	外来診療棟（医科）
3	中央診療棟
4	入院棟
5	総合診療棟
6	歯学部棟・外来診療棟（医科・歯科）
7	臨床研究棟
8	臨床講義棟及び病理部
9	旧RI研究センター
10	総合教育研究棟
11	基礎研究棟
12	基礎医学棟
13	基礎医学講義実習棟
14	鹿田会館・講堂（旧生化学棟）
15	医学資料棟（旧栄養学棟）

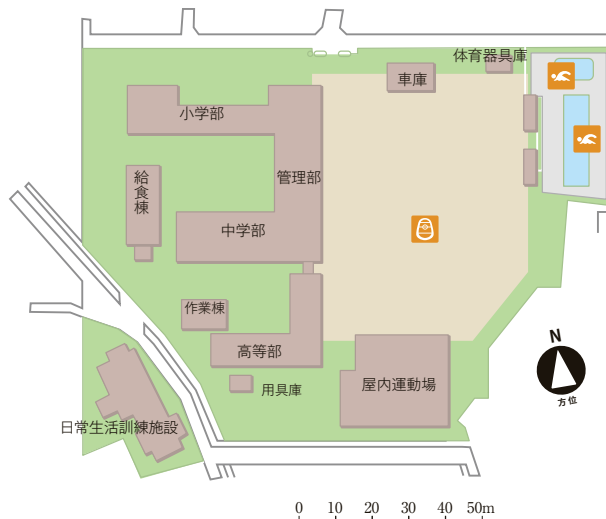
16	附属図書館鹿田分館
17	記念会館
18	保健学科棟
19	体育館
20	武道場
21	校友会クラブ棟
22	地域医療人育成センターおかやま（MUSCAT CUBE）
23	Junko Fukutake Hall
24	医歯薬融合型教育研究棟
25	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門鹿田施設
26	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門鹿田施設 中性子医療研究センター

東山地区



教育学部附属幼稚園
教育学部附属小学校
教育学部附属中学校
教師教育開発センター東山ランチ

平井地区



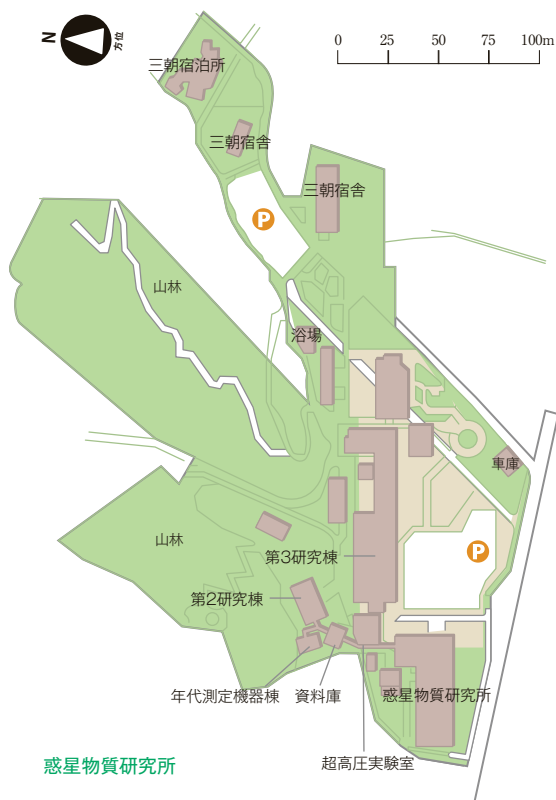
教育学部附属特別支援学校

倉敷地区



資源植物科学研究所
同附属大麦・野生植物資源研究センター
附属図書館資源植物科学研究所分館

三朝地区



惑星物質研究所

歴代学長、学年暦、
理念・目的・目標

沿

革

組

織

図

役

職

員

教育

研究

組織

等

統

計

国

際

交

流

社会

連携

関連

組織

ア

ク

セ

ス

キャン

パス

マップ

岡山大学学歌

♩ = 112 おおらかにかがやかしく
久坂 基・作詞
松本民之助 作曲

やまのみなみに ひかりあふれて つど
いよーるひとみあかーるし あおぎみる
はるけきかなた おおいなりもゆるのぞみほと
おくとも そをまなびてもと めん

- 一、山の南に光りあふれて
つどいよる ひとみあかるし
仰ぎみる はるけきかなた
大いなり もゆる望みは
遠くとも そを
学びてもとめん
- 二、内海（瀬戸内）のほとり 風はさやかに
つどいよる いふきは深し
胸をはり まゆをあぐれば
いやたかし むねの誇りは
ふかくひめ そを
学びてまらん
- 三、まがねふく国 名はふるくとも
つどいよる 心あたらし
古（いにしへ）のふみをつたえて
うちたてん とこしへの道
さわみなく そを
学びてたてん

学歌について

昭和34年、創立10周年を記念して学歌を制定することになり、歌詞を募集したが、応募作品中該当作品がなかったため、教育学部久坂教授に依頼し、歌詞を制定した。その後歌詞が決定したので、作曲を募集したが、作曲も入選作品がなかったため、東京芸術大学名誉教授松本民之助氏に作曲を依頼して、現在の学歌ができあがった。

岡山大学学生歌

元気に南も味深く (昭和28年度)
三沢 信弘 作詞
宮原 禎次 作曲

われらは あつーまり ほんだやまの やますそに
こからしが すさぶなをわれらの まなびやを
まもろ う おお おお おか
だ い わ れ ら の も の

- 一、われらはあつまり
ほんだ山の山すそに
こからしがすさぶ中を
われらの学舎を守るう
おお岡大われらのもの
- 二、われらはあつまり
ひろい校庭の一面に
もえたつ若木のように
われらの未来を語るう
おお岡大われらのもの
- 三、われらはあつまり
われらのうたをうたおう
自由と平和のために
まなびゆくわれらのうたを
おお岡大われらのもの

学生歌について

昭和28年度校友会（現：校友会）委員から学生歌を作成したいとの意向があり、「みんなで歌える歌、創設期を脱してさらに発展をめざすとき、躍進岡大を象徴するもの」という主旨のもと、一般学生から歌詞を募集した。選考委員会で諮った結果、三沢信弘作詞のものに決定し、作曲は宮原禎次NHK嘱託に依頼し現在の学生歌になった。その後昭和30年度、昭和32年度にも募集して二曲の学生歌が作られている。



平成11年5月、マークデザイナー・宮崎利一氏、アートディレクター・橋ヶ谷佳正教育学部教授による作品
このマークは、Okayamaの「O」とUniversityの「U」から形作られ、鳥のごとく未来に向かって羽ばたき、光輝く岡山大学の姿を表現している。



Okayamaの「O」Universityの「U」をデザインのモチーフにしている。全体のフォルムは常に世界に向かって開かれる「知の扉」を表現しており、岡山から「知のコミュニケーション」が始まってゆく様をイメージしている。平成24年4月に、コミュニケーションシンボルとして制定された。

OKAYAMA
UNIVERSITY



学 章

岡山大学

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学総務・企画部 広報・情報戦略室

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www-adm@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学総務・企画部 広報・情報戦略室

<http://www.okayama-u.ac.jp/>